

第4次泉大津市総合計画の策定に向けた市民アンケート調査
結果報告書

平成25年12月

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果概要	2
(1) 住みやすさ	2
(2) 今後の居留意向	3
(3) 泉大津市のまちづくりの取組みに対する総合的な満足度	5
(4) 「第3次泉大津市総合計画」の基本計画に基づく36項目の評価	6
(5) 泉大津市の将来像	7
(6) 泉大津市のキャッチフレーズや将来のイメージ	9
(7) 市政やまちづくりに市民の意見や要望が反映されているか	10
(8) まちづくりを進めていく場合の市民と行政の関係	11
(9) 市政やまちづくりの活動への参加意向	12
(9)－1 市政やまちづくりに参加したいと思う活動内容	13
(9)－2 市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由	14
(10) 市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後行政において必要な取組み	15
(11) “市民と行政の協働によるまちづくり”の活動や取組みのイメージ	16
(12) 公共施設の利用状況	17
(13) 泉大津市の公共施設数やサービスの内容についての考え	19
(14) 泉大津市の人口規模から見た施設の数	20
(15)－1 今後の公共施設整備についての考え	24
(15)－2 施設数を減らす場合減らしてもよいと考える施設	26
(15)－3 施設数を減らす場合減らしてもよいと考える市内の公共施設	27
(16) 公共施設を税金と利用者が支払う使用料で管理運営していることについて	28
(17) 公共施設の使用料は何を基準に決めるべきか	29
(18) 地域住民や利用者による運営が可能と思う施設	29
(19) 公共施設の対策について	31
(20) 回答者について	32
(21) 自由意見	35

1. 調査の概要

第4次泉大津市総合計画の策定にあたり、広く市民の意見を伺い、計画に反映していくことを目的に、市民アンケート調査を実施しました。

■調査の方法及び概要

対 象：無作為に抽出した16歳以上の市民3,000人

調査方法：郵便による発送・回収

調査時期：平成25年10月24日発送、11月10日締切

回収状況：回収数809票（回収率27.0%）

■報告書の見方

- ・グラフに表示されているN値は有効回答数です。
- ・集計結果の%表示は、小数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・設問ごとの年齢別や地区別の集計は、無回答を排除しているため、有効回答数の合計が、全体の有効回答数と合致しないことがあります。

■アンケートの精度

- ・集計結果の比率は必ず誤差を含みますが、統計学上、その誤差は3～5%以内であれば良いとされています。
- ・本調査の回収数809票は、母集団（市内の16歳以上の全人口64,314人（泉大津市住民基本台帳、H25.8.1現在））に対し、信頼度95%、標準誤差5%とした場合の統計学上必要なサンプル数382件を上回り、本調査から得られた分析結果は、泉大津市全体としての意見を推定するために、十分な精度を得ています。

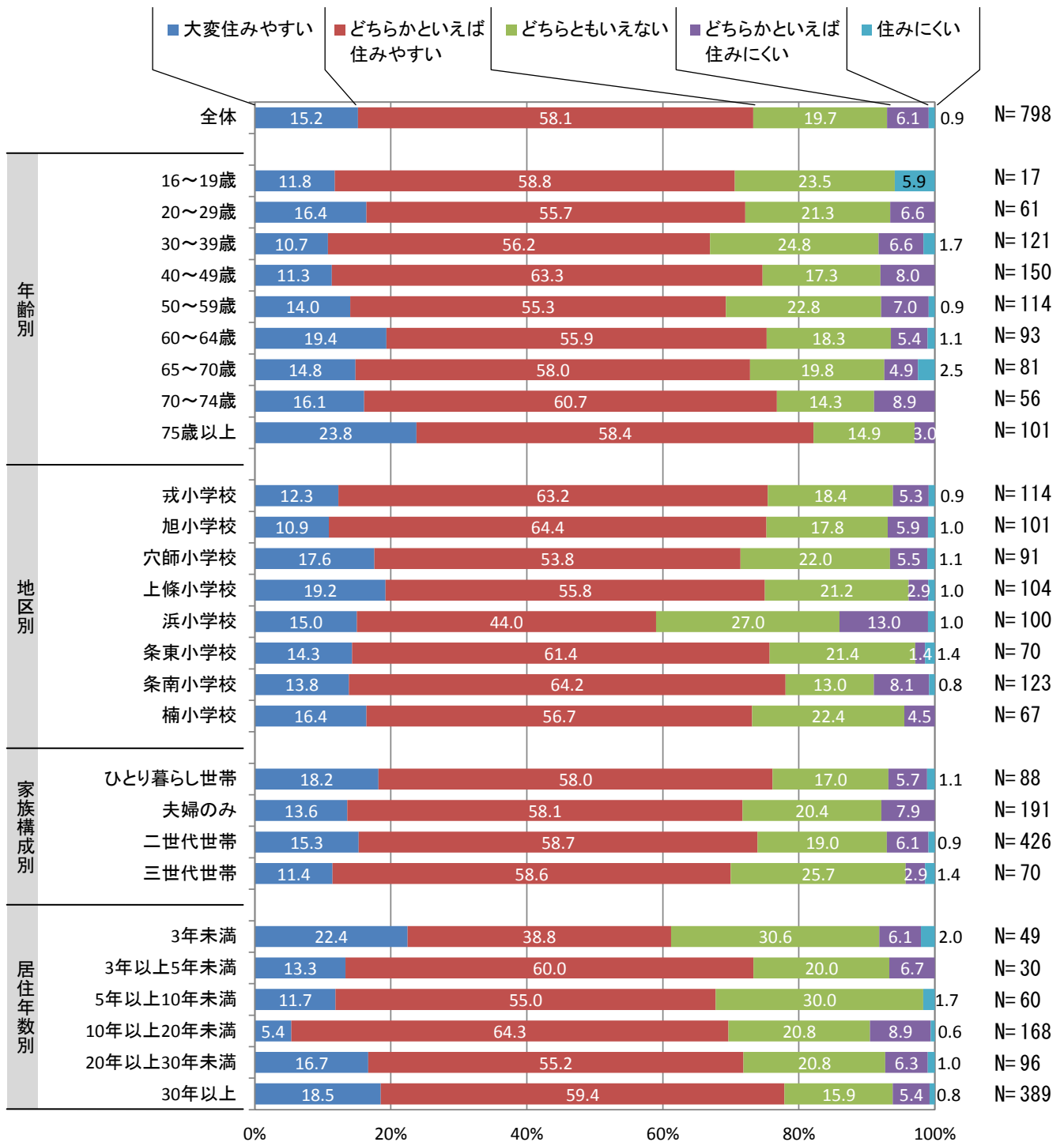
2. 調査結果概要

(1) 住みやすさ

総合的にみて、泉大津市は住みよいところだと感じますか？ <1つに○印>

「大変住みやすい」が15.2%、「どちらかといえば住みやすい」が58.1%、あわせて73.3%が住みやすいと回答しています。

一方、「住みにくい」は0.9%、「どちらかといえば住みにくい」は6.1%であり、住みにくいと回答したのは7.0%となっています。

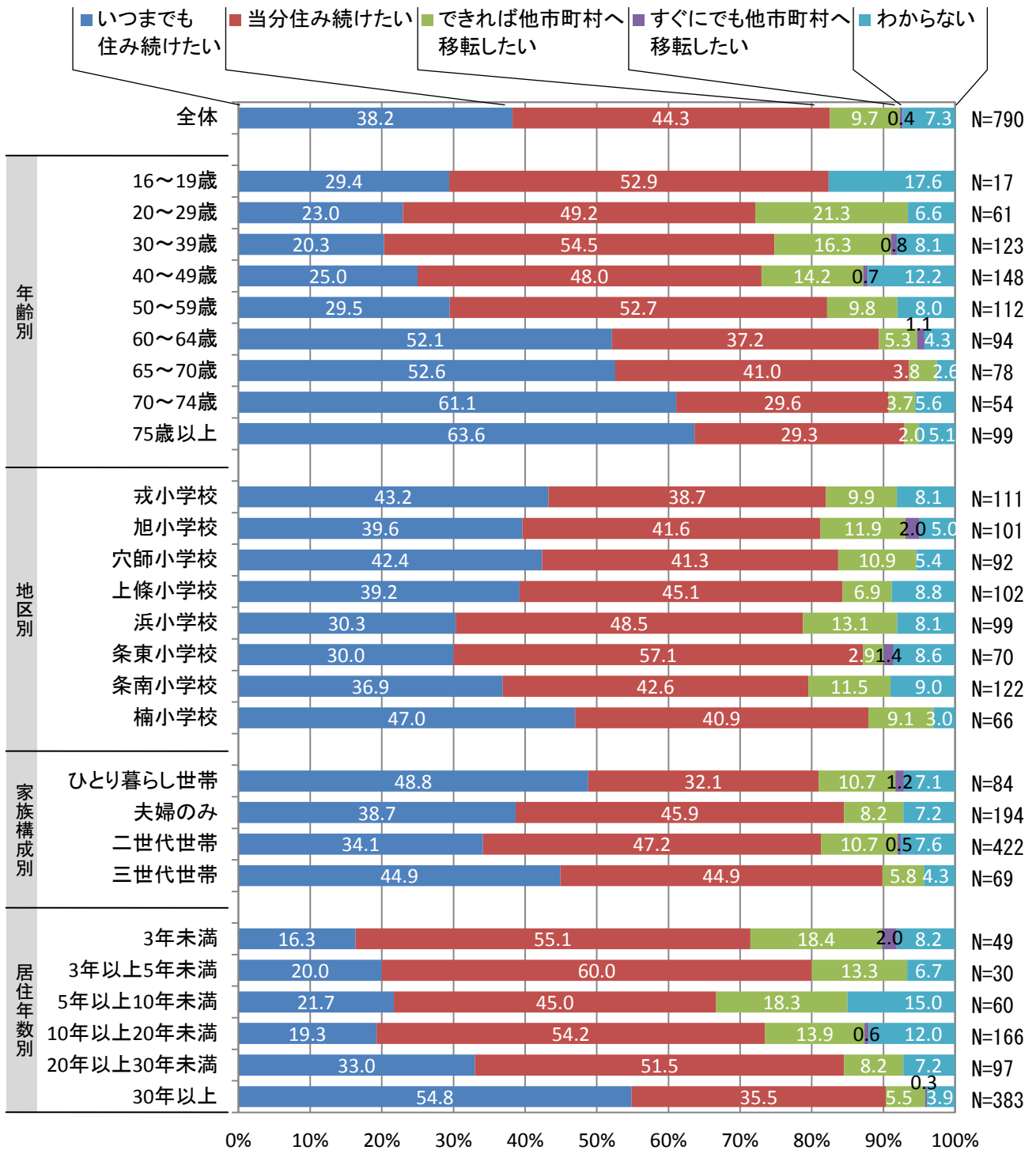


(2) 今後の居住意向

これからも泉大津市に住み続けたいと思いますか？ <1つに○印>

「いつまでも住み続けたい」が38.2%、「当分住み続けたい」が44.3%、あわせて82.5%が住み続けたいと回答しています。

一方、「すぐにでも他市町村へ移転したい」は0.4%、「できれば他市町村へ移転したい」は9.7%であり、移転したいと回答したのは10.1%となっています。

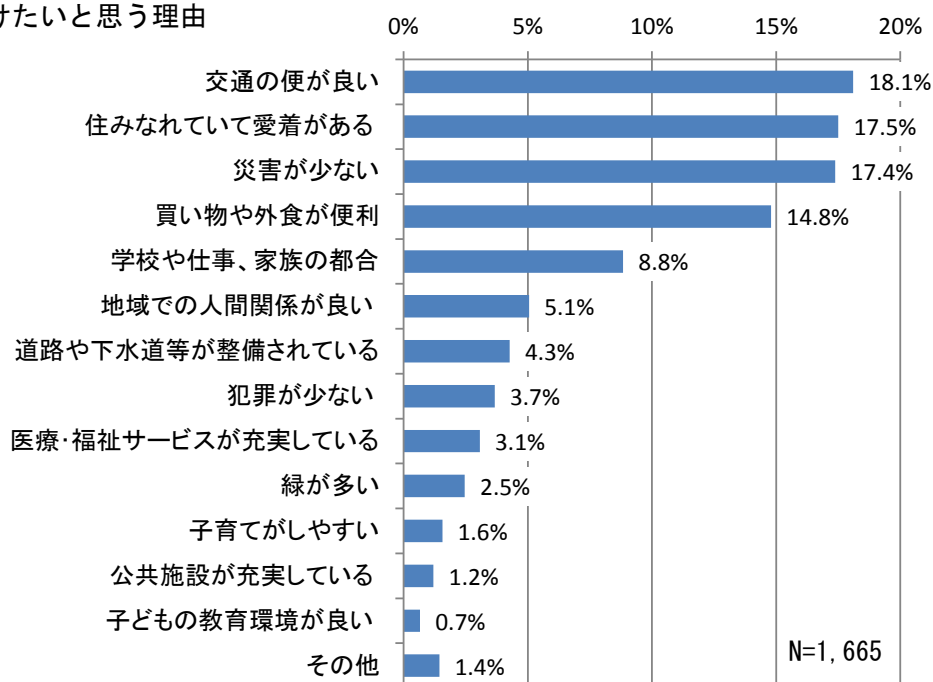


住み続けたいと思う（住み続けたいと思わない）理由は何ですか？ <3つまでに○印>

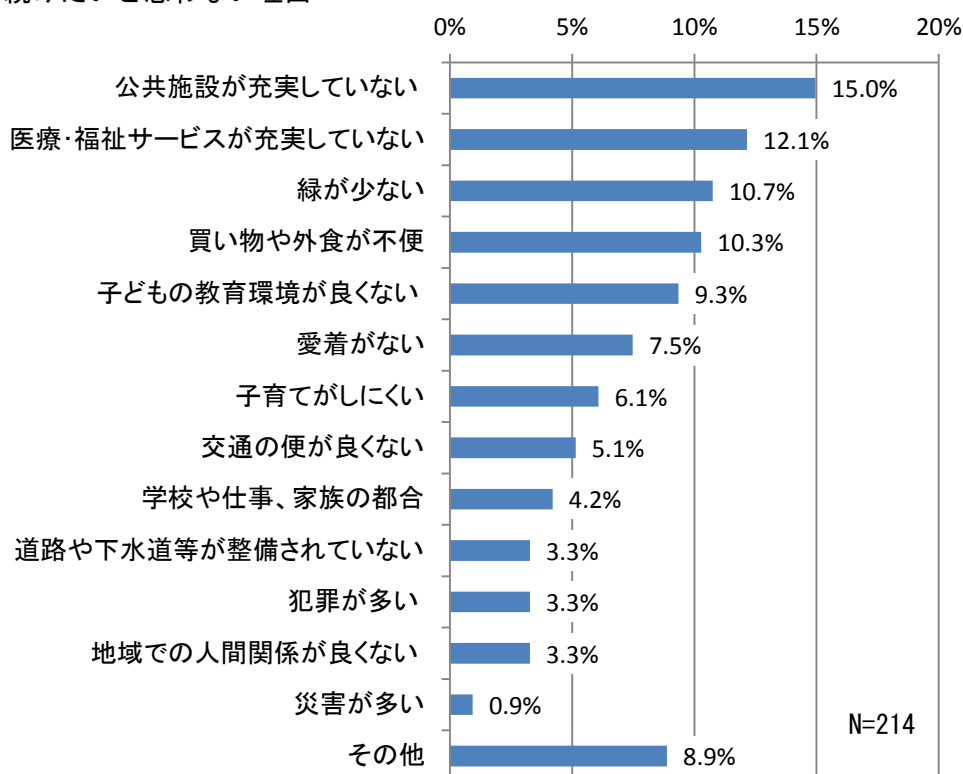
泉大津市に住み続けたいと思う理由では、「交通の便が良い」が18.1%と最も多く、以下、「住みなれていて愛着がある」が17.5%、「災害が少ない」が17.4%と多くなっています。

一方、泉大津市に住み続けたいと思わない理由では、「公共施設が充実していない」が15.0%と最も多く、以下、「医療・福祉サービスが充実していない」が12.1%、「緑が少ない」が10.7%と多くなっています。

■住み続けたいと思う理由



■住み続けたいと思わない理由

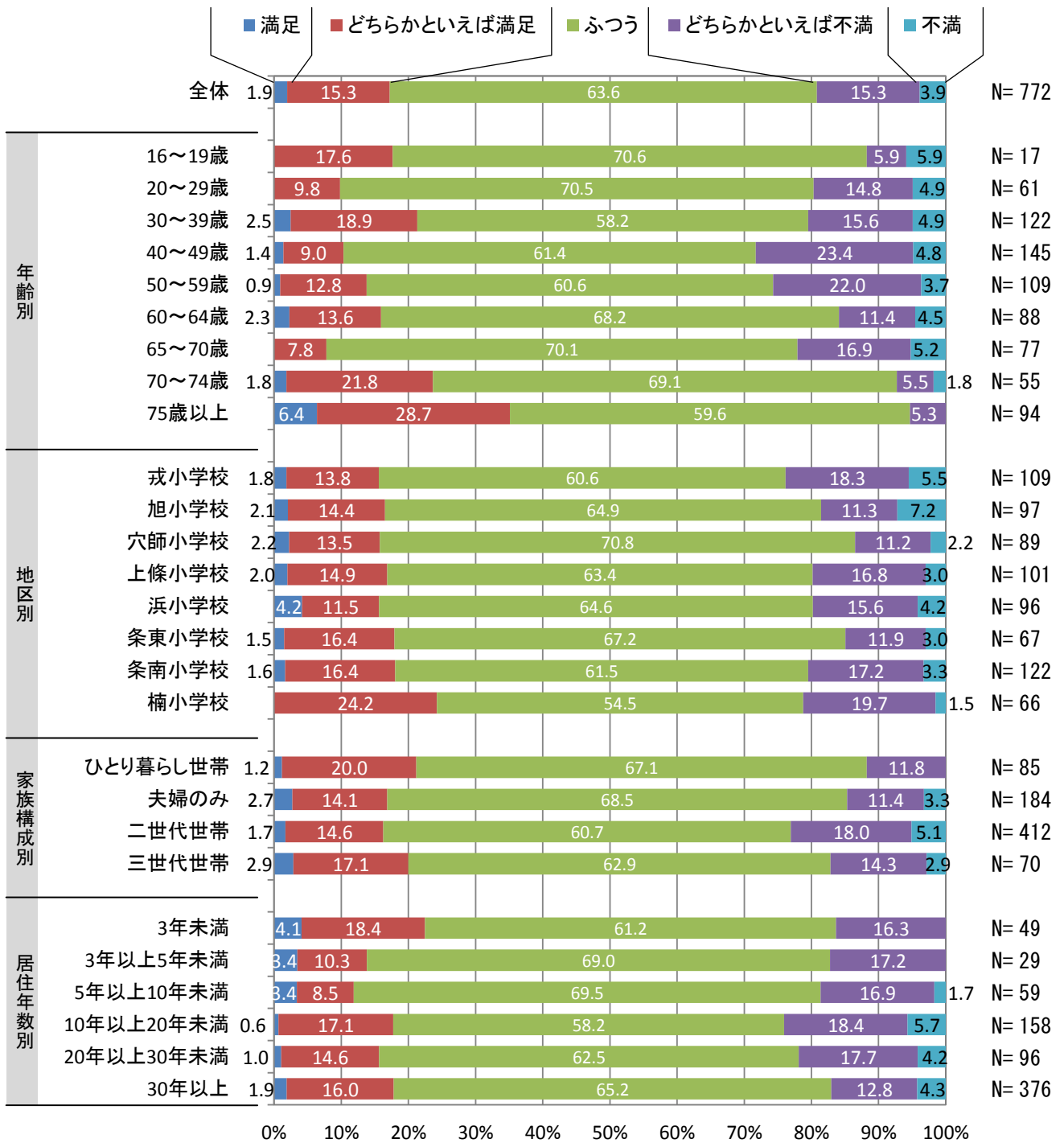


(3) 泉大津市のまちづくりの取組みに対する総合的な満足度

泉大津市のまちづくりの取組みについて、総合的にどのように感じますか。〈1つに○印〉

「満足」が1.9%、「やや満足」が15.3%、あわせて17.2%が満足と回答しています。

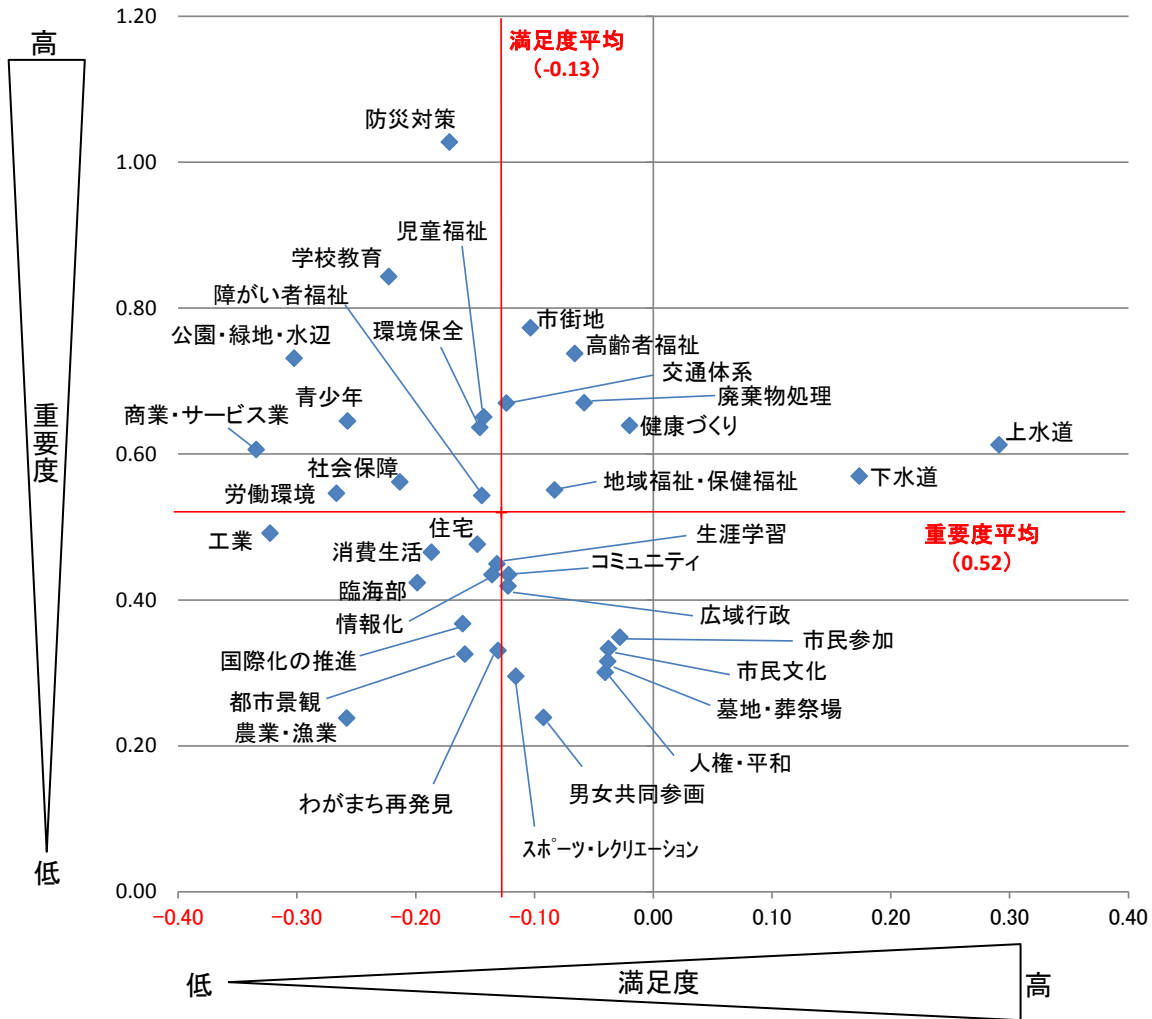
一方、「不満」が3.9%、「やや不満」が15.3%、あわせて19.2%が不満と回答しており、不満と回答した割合が満足と回答した割合をやや上回っています。なお、半数を超える63.6%が「ふつう」と回答しています。



(4)「第3次泉大津市総合計画」の基本計画に基づく36項目の評価

これまで第3次泉大津市総合計画に沿って進めてきた各種取り組みについて、現在の評価「満足度」と、今後の期待「重要度」のそれぞれについて、あなたの今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

■加重平均※の分布図



※加重平均: 満足度は、各回答のうち、「満足」を2点、「やや満足」を1点、「ふつう」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として、各回答の点数を足し合わせたものを、回答数で割った値です。重要度についても、重要度が「高い」を2点、「やや高い」を1点、「ふつう」を0点、「やや低い」を-1点、「低い」を-2点として、各回答の点数を足し合わせたものを、回答数で割った値です。

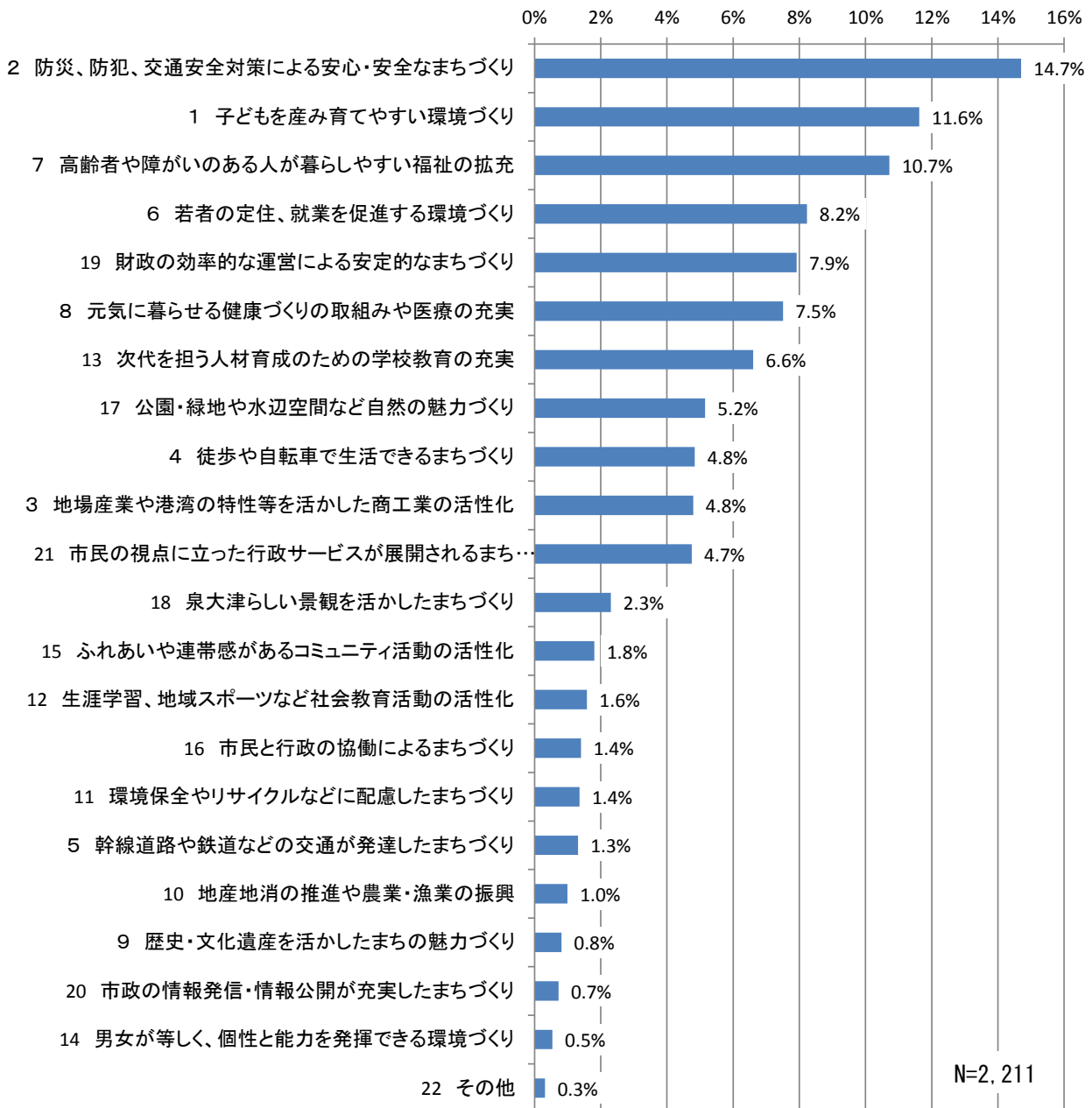
(5) 泉大津市の将来像

今後の10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思う番号をお選びください。

<重要度が高いと思うものから順に3つまで選び該当する順位欄に番号を記入>

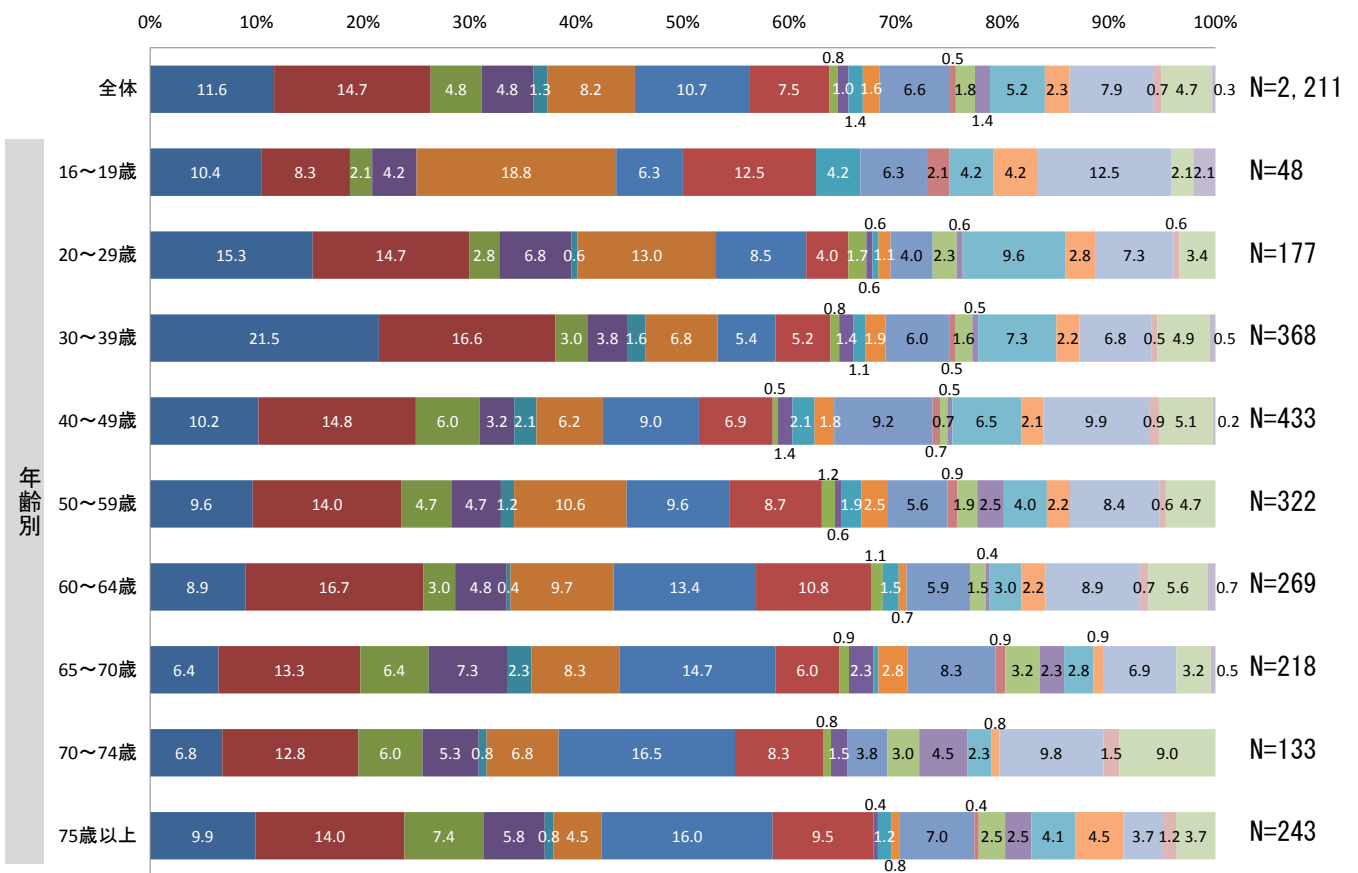
重要度が高い項目は、上から順に「防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり」、
「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい福祉の拡充」と
なっています。

■今後の10年間のまちづくりで重要だと思うもの（全年齢）



※重要度が高いと思うもの3つを選択。単純に全てを加算。

■今後の10年間のまちづくりで重要だと思うもの（年齢別）



- 1 子どもを産み育てやすい環境づくり
- 2 防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり
- 3 地場産業や港湾の特性等を活かした商工業の活性化
- 4 徒歩や自転車です生活できるまちづくり
- 5 幹線道路や鉄道などの交通が発達したまちづくり
- 6 若者の定住、就業を促進する環境づくり
- 7 高齢者や障がいのある人が暮らしやすい福祉の拡充
- 8 元気に暮らせる健康づくりの取組みや医療の充実
- 9 歴史・文化遺産を活かしたまちの魅力づくり
- 10 地産地消の推進や農業・漁業の振興
- 11 環境保全やリサイクルなどに配慮したまちづくり
- 12 生涯学習、地域スポーツなど社会教育活動の活性化
- 13 次代を担う人材育成のための学校教育の充実
- 14 男女が等しく、個性と能力を発揮できる環境づくり
- 15 ふれあいや連帯感があるコミュニティ活動の活性化
- 16 市民と行政の協働によるまちづくり
- 17 公園・緑地や水辺空間など自然の魅力づくり
- 18 泉大津らしい景観を活かしたまちづくり
- 19 財政の効率的な運営による安定的なまちづくり
- 20 市政の情報発信・情報公開が充実したまちづくり
- 21 市民の視点に立った行政サービスが展開されるまちづくり
- 22 その他

(6) 泉大津市のキャッチフレーズや将来のイメージ

あなたが考える、泉大津市のキャッチフレーズや将来のイメージを自由に記入してください。
くいくつでも結構です>

キャッチフレーズや将来のイメージに関するご意見のなかから、数多くの回答者が使用しているキーワードを抽出し、キーワードの使用回数が多い順に整理した結果は以下のとおりです。(計 235 名が記入)

“泉大津”

市の名前である「泉大津」を使用したイメージが最も数多く提案されています。

※「泉大津」という言葉を 79 名が使用しています。(平仮名を含む)

安全・安心なまち

「安心して住めるまち」「安全で暖かいぬくもりの街」など、安全・安心なまちであってほしいというイメージが数多く提案されています。

※「安心」という言葉を 55 名が使用しており、「安全」という言葉を 29 名が使用 (一部重複)。

子どもが住みやすく、子育てしやすいまちへ

「子どもが安心して暮らせる町」「子育てをするにあたっての支援や協力がある町」「子供や若者の目が輝く町」など、子どもが暮らしやすく、子育てしやすいまちになってほしいというイメージが提案されています。

※「子供」という言葉を 31 名が使用 (平仮名含む)。また、「子育て」という言葉を 11 名が使用。

高齢者をはじめとする多様な市民への配慮

高齢者への配慮だけに限らず、「高齢者から、乳幼児まで笑顔で暮らせる」や、「高齢者も若者も元気に暮らせる泉大津へいらっしやいませ!」、「高齢者も若者も助け合って暮らせるまちづくり」など、子どもや若者と組み合わせたイメージが提案されています。

※「高齢」という言葉を 18 名が使用しており、そのうち 10 名が同時に「若者」や「子供」に言及。

活気、活力、笑顔

「活気」や「活力」、「笑顔」というイメージのほか、「商業」や「地場産業」、「毛布」のことなど、具体的な内容を通して、笑顔でいきいきとしたまちのイメージが提案されています。

※「活気」と「活力」という言葉を合わせて 9 名が使用。「笑顔」を 12 名が使用。さらに、「地場」を 3 名、「毛布」を 5 名が使用。

いつまでも住みたいまち、住んでみたいまちへ

「いつまでも住みたいまちづくり」や「皆が住みたくなる街づくり」など、現在の住民だけでなく、他所からも泉大津市へ移り住んでほしいというイメージが提案されています。

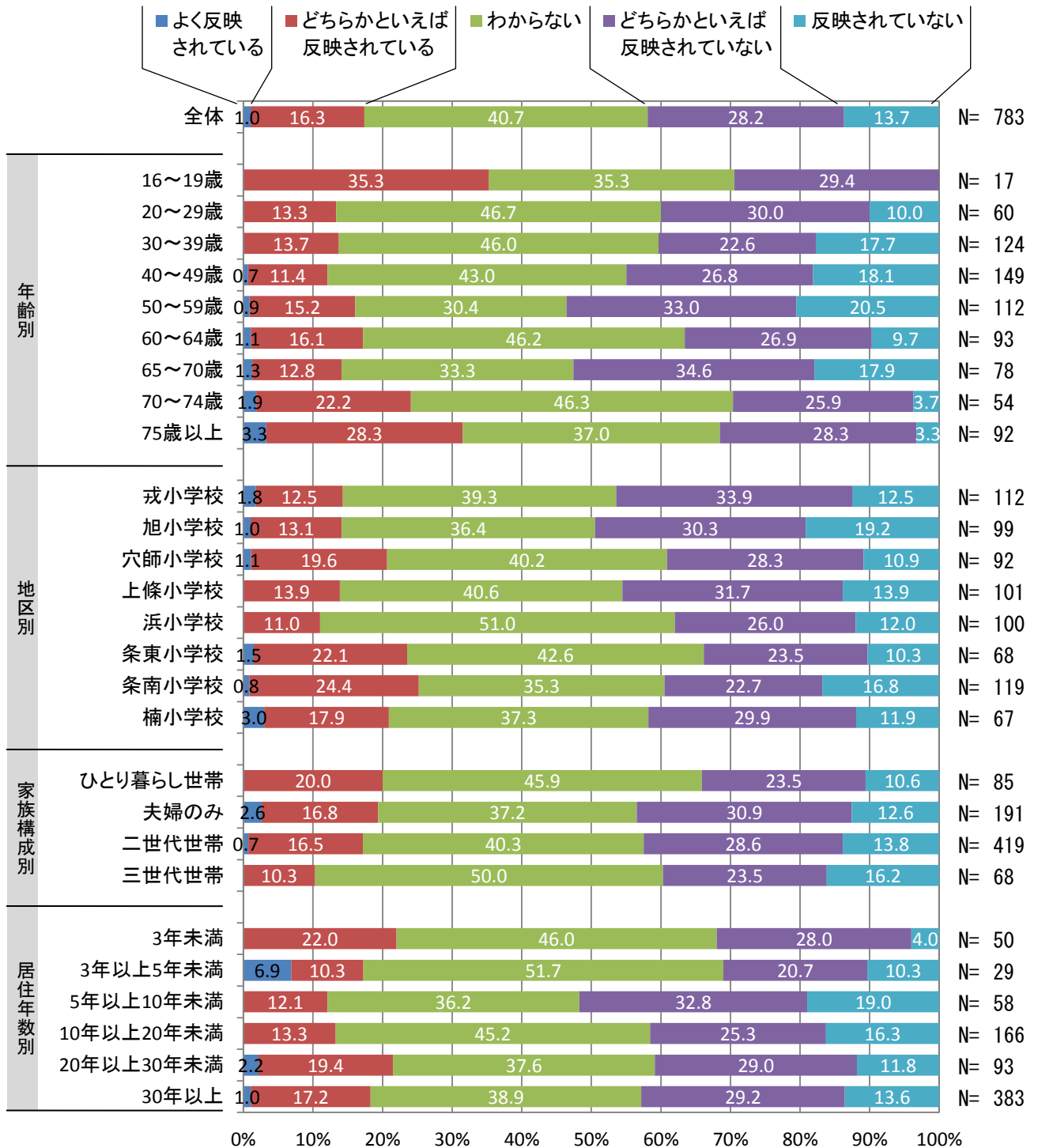
※「住みやすい」という言葉を 6 名が使用。また、「住みたい」、「住んでみたい」、「住みたくなる」を合わせると 9 名が使用。

(7) 市政やまちづくりに市民の意見や要望が反映されているか

あなたは、市政やまちづくりに市民の意見や要望が反映されていると思いますか。＜1つに○印＞

「よく反映されている」が1.0%、「どちらかといえば反映されている」が16.3%、あわせて17.3%が反映されていると回答しています。

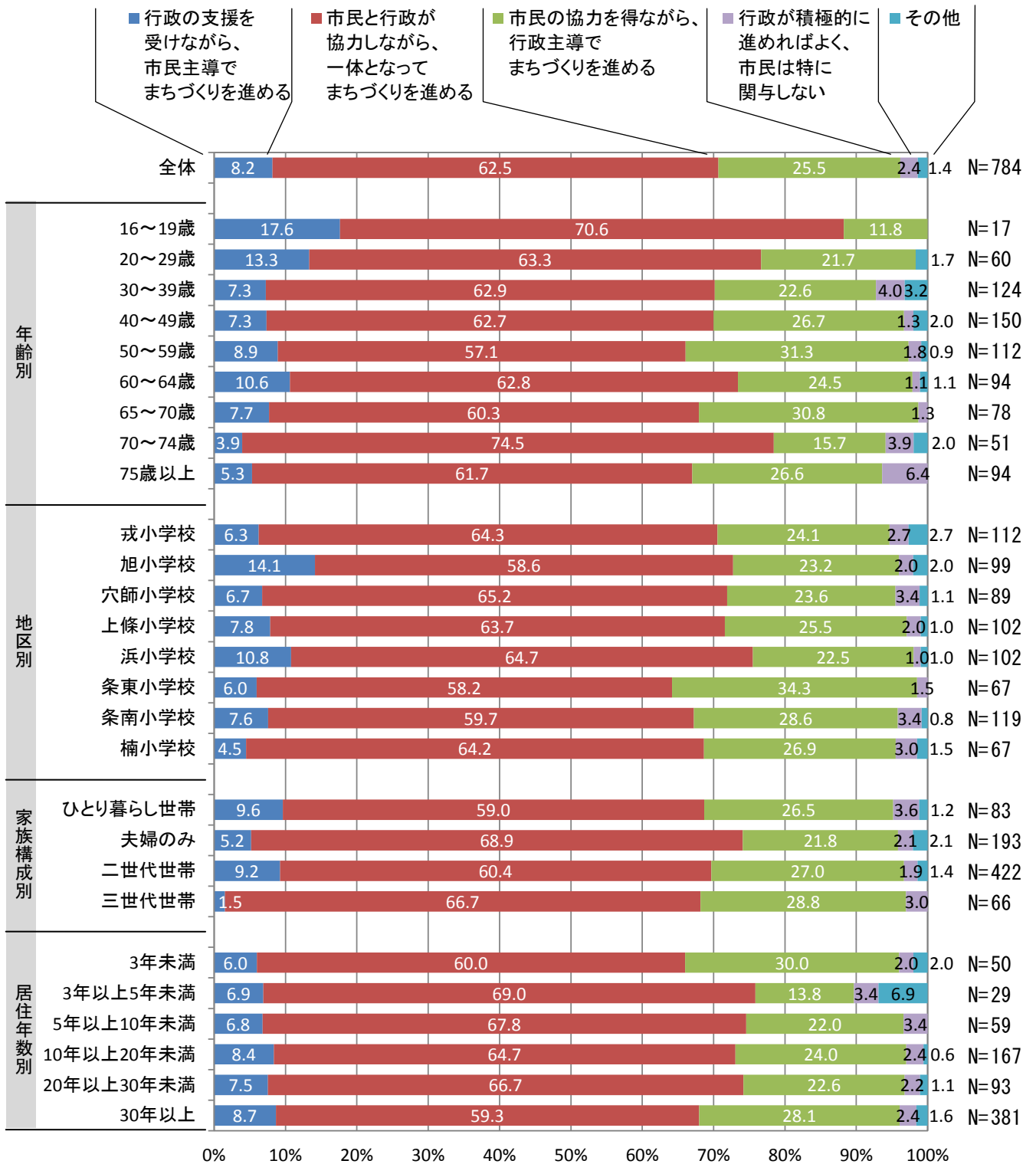
一方、「反映されていない」が13.7%、「どちらかといえば反映されていない」が28.2%、あわせて41.9%が反映されていないと回答しており、反映されていないと回答した割合が反映されていると回答した割合を上回っています。なお、40.7%が「わからない」と回答しています。



(8) まちづくりを進めていく場合の市民と行政の関係

あなたは泉大津市のまちづくりを進めていく場合に、市民と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。 <1つに○印>

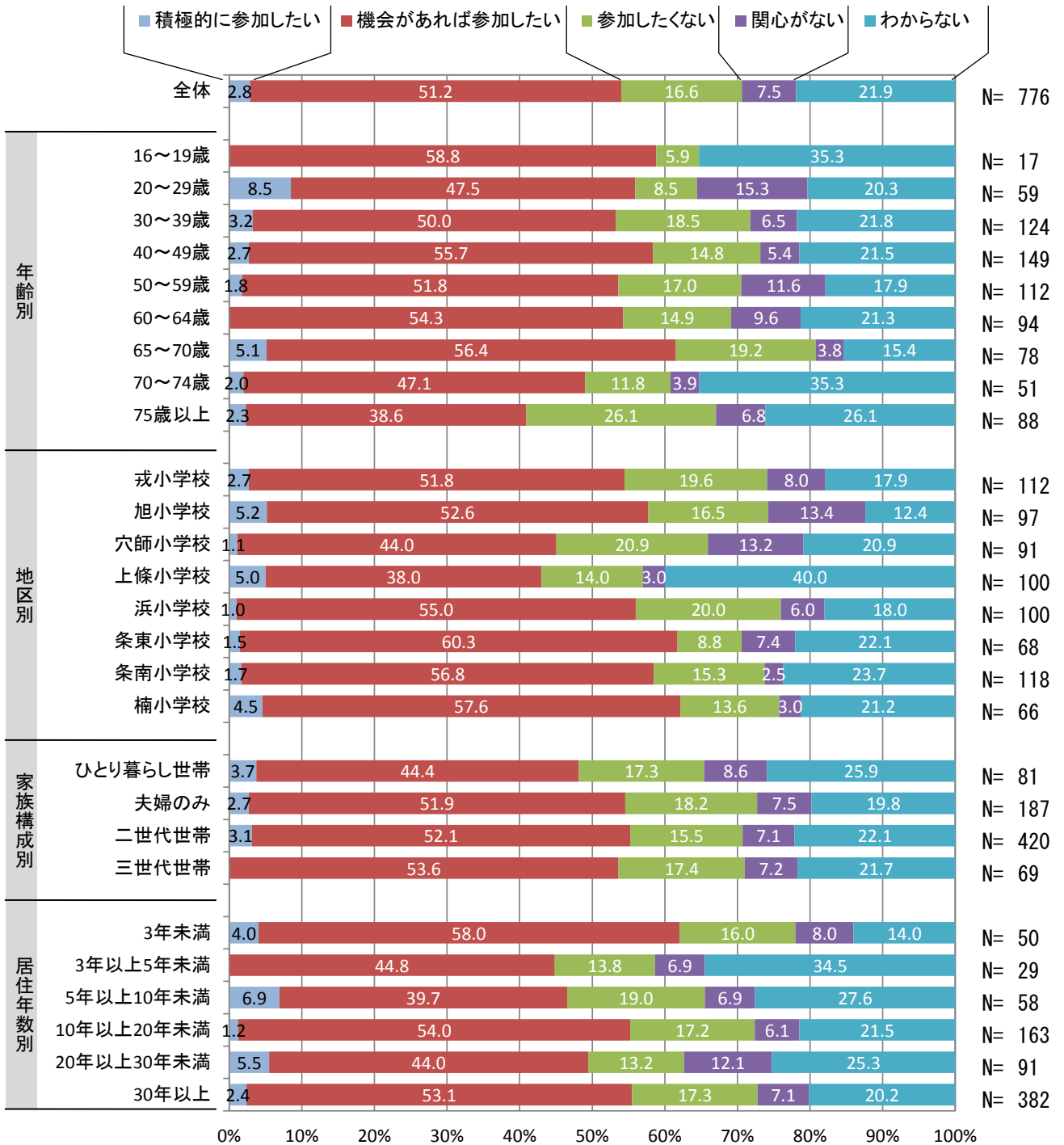
「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」が62.5%と過半数を超えており、「市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」が25.5%となっています。



(9) 市政やまちづくりの活動への参加意向

あなたは、今後、市政やまちづくりの活動に参加したいと思いますか。〈1つに○印〉

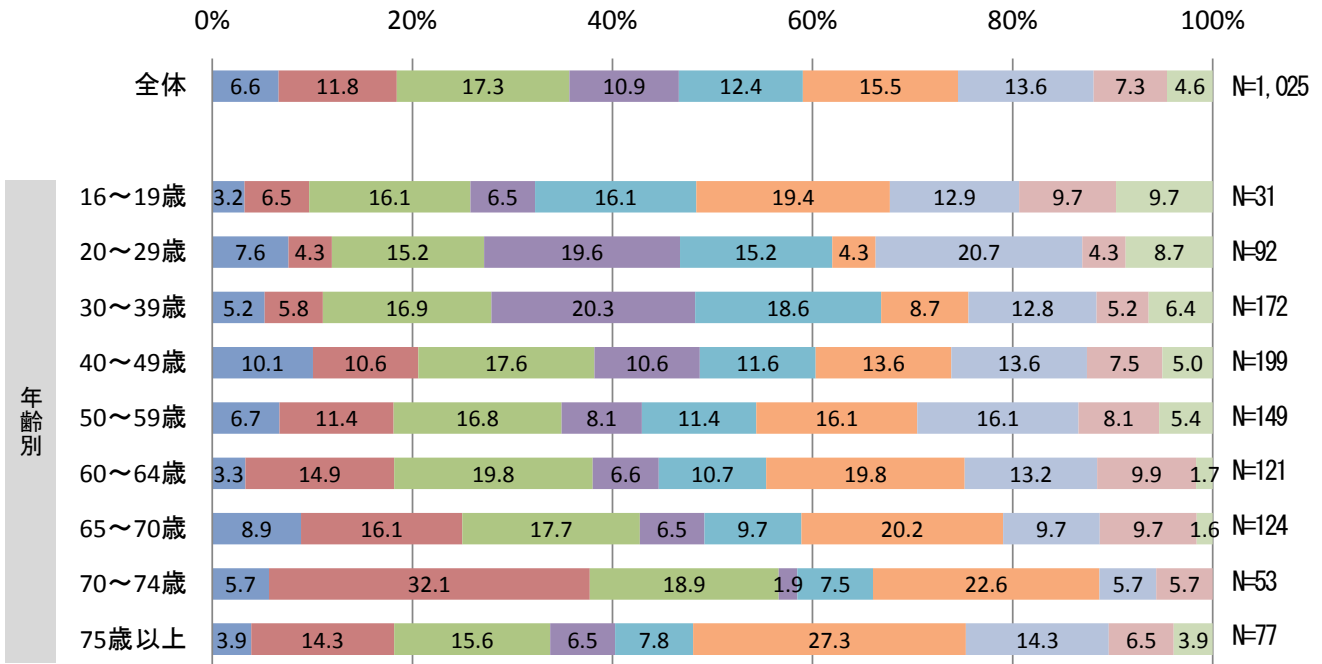
「積極的に参加したい」が2.8%、「機会があれば参加したい」が51.2%となっており、参加意欲を示す回答者が過半数を超えています。



(9) - 1 市政やまちづくりに参加したいと思う活動内容

(9) 市政やまちづくりの活動への参加意向において、「積極的に参加したい」または「機会があれば参加したい」と回答された方におたずねします。あなたは、どのような活動に参加しようと思えますか。〈あてはまるものすべてに○印〉

参加意向の高い活動は「まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」が 17.3%、「高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動」が 15.5%、「文化・芸術・スポーツ活動」が 13.6%などとなっています。



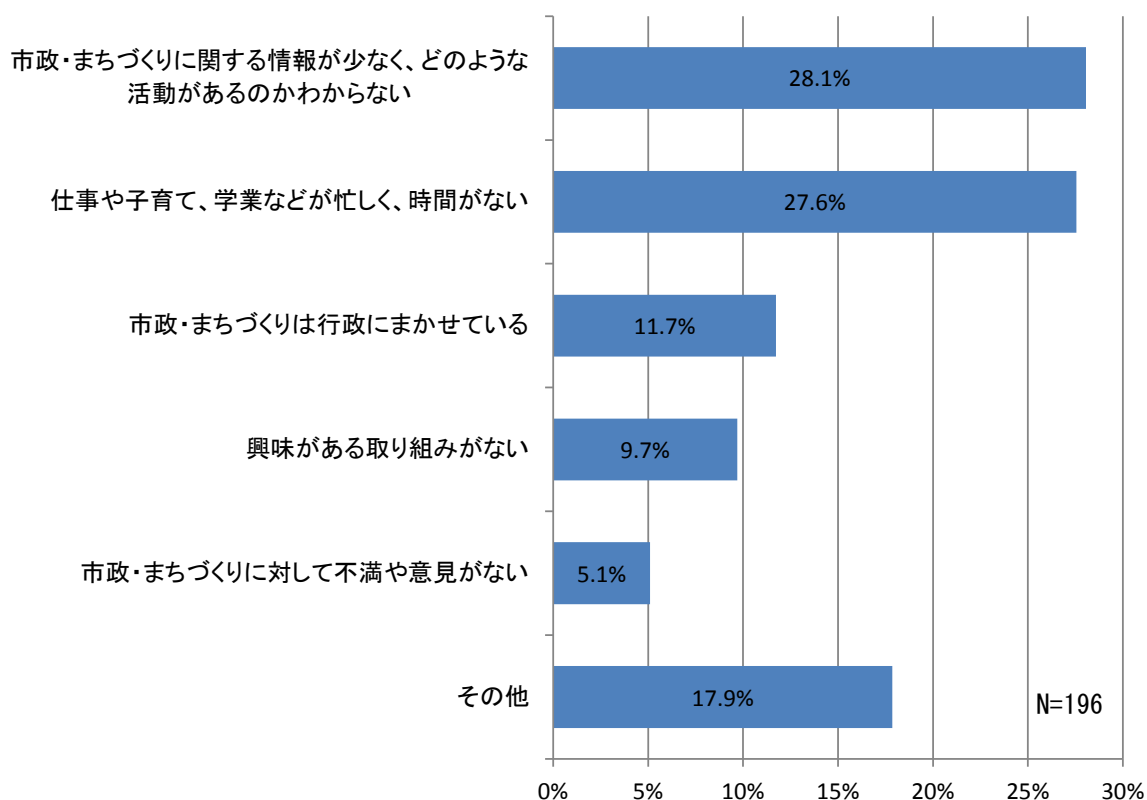
- 行政の計画づくりへの参加(審議会や意見交換会など)
- 自治会などの地域のまちづくり活動
- まちの美化・清掃活動・緑化などの活動
- 子育て支援に関する活動
- 子どもの健全育成に関する活動
- 高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動
- 文化・芸術・スポーツ活動
- 環境の保全に関する活動
- 国際交流に関する活動

(9) - 2 市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由

(9) 市政やまちづくりの活動への参加意向において、「参加したくない」または「関心がない」と回答された方におたずねします。市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由は何ですか。
<1つに○印>

市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由としては、「市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのかわからない」が28.1%と最も高くなっており、次いで「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない」が27.6%となっています。

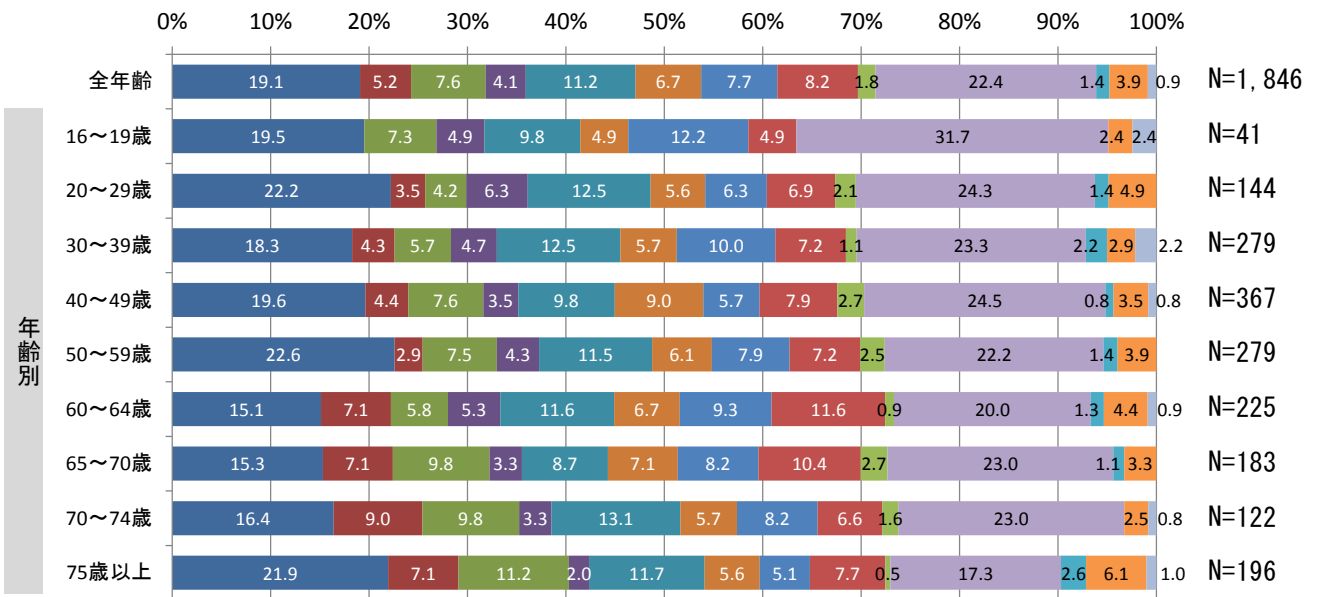
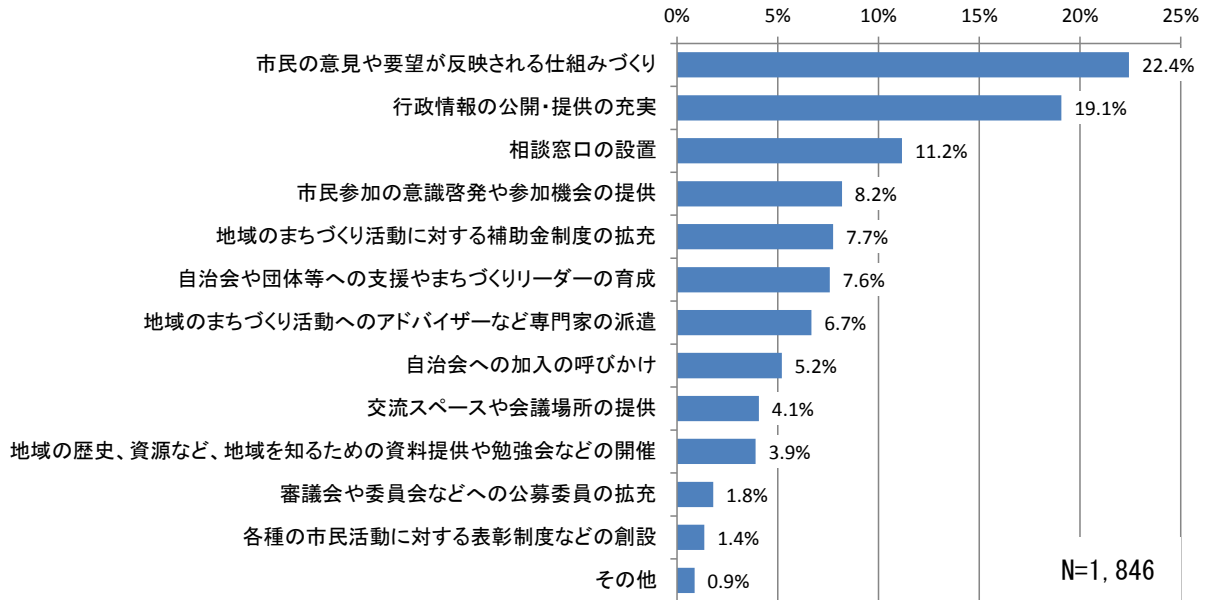
「その他」も17.9%と高くなっており、その理由として、高齢等により活動に参加できないという意見が多く挙げられています。



(10) 市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後行政において必要な取組み

市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。 <3つまで〇印>

協働によるまちづくりを推進するために必要な取り組みは「市民の意見や要望が反映される仕組みづくり」が22.4%、次いで「行政情報の公開・提供の充実」が19.1%となっています。



- 行政情報の公開・提供の充実
- 自治会への加入の呼びかけ
- 自治会や団体等への支援やまちづくりリーダーの育成
- 交流スペースや会議場所の提供
- 相談窓口の設置
- 地域のまちづくり活動へのアドバイザーなど専門家の派遣
- 地域のまちづくり活動に対する補助金制度の拡充
- 市民参加の意識啓発や参加機会の提供
- 審議会や委員会などへの公募委員の拡充
- 市民の意見や要望が反映される仕組みづくり
- 各種の市民活動に対する表彰制度などの創設
- 地域の歴史、資源など、地域を知るための資料提供や勉強会などの開催
- その他

(11) “市民と行政の協働によるまちづくり”の活動や取組みのイメージ

あなたの考える、“市民と行政の協働によるまちづくり”の活動や取組みは、どのようなイメージですか？<自由に記入してください>

“市民と行政の協働によるまちづくり”の活動や取組みのイメージに関するご意見を分類し、主な内容を整理した結果は以下のとおりです。(計 158 名が記入)

市民が自治会や学校など地域ごとの取組みに参加すること

「自治会に入るべき」や「自治会が決めて下されば、出来るだけ参加する様にしたい」など、自治会の取組みに参加することがイメージとして挙げられています。

また、「学校などでの保護者も参加できる様な防災訓練」や、「自治会のクリーン作戦、見守り隊」など、地域ごとの取組みに積極的に参加することがイメージとして挙げられています。

加えて、「近所迷惑な出来事が自治会だけでは処理できないため、一緒に行政も取り組んでくれるようなしくみ」など、自治会だけでは解決できない問題に対して、行政が協力することなどがイメージとして挙げられています。

市民が分野ごとの取組みに参加すること

一定の地域ではなく、市域全体で分野ごとの取組みに積極的に参加することがイメージとして挙げられています。主なイメージは以下のとおりです。

- 「市民同士であいさつしたり、顔見知りになる活動」や「国際交流でのホストファミリー」など、市民同士や市外との交流の取組み
- 「孤独死を防ぐようなネットワークづくり」や「健康と体力づくりの取組み」、「子育て支援に関する活動」など、健康・福祉の取組み
- 「歴史研究会の発足と参加」や「青少年への育成指導」など、文化や人を育む取組み
- 「共に緑を増やす」や「道路・公園等の維持管理」など、まちの維持管理や質向上の取組み
- 「防災訓練」や「防犯に関する活動、声かけ」など、防災・防犯に関する取組み
- 「毛布・ニット祭りの開催」、「おづみんの応援活動」、「特産品の歴史、生産等の勉強・体験による泉大津の知識向上」など、イベントやまちのPR、泉大津のことを学ぶ取組み
- 「ボランティアによる運営（公共施設）」など、公共施設に関する取組み

また、これらの市民の取組みに対して「官が場を提供」することなど、行政の協力がイメージとして挙げられています。

市民と行政が共にまちづくりに取組みやすいしくみや体制を作ること

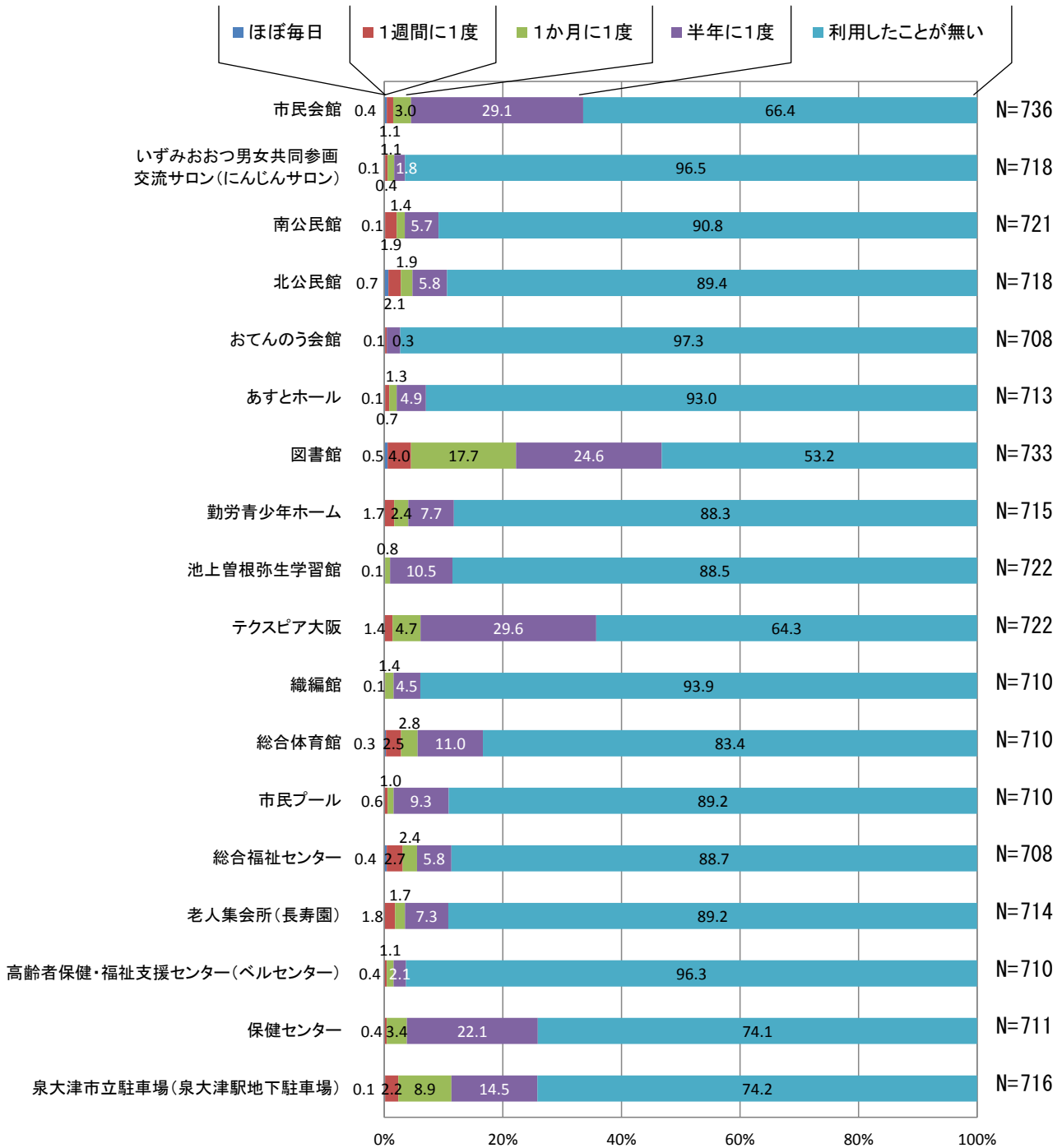
「行政が何をしているのか市民へ情報提供」することや、「市民の声を聞く活動が重要」、「市民の意見を聞く機会を設置」という意見など、市民に情報を発信するとともに、市民から意見を吸い上げることにより、市民がまちづくりに参画しやすいしくみを作っていくことがイメージとして挙げられています。

また、市民と行政が「アットホームに意見を言い合える集まりを開く」とともに、その場出された意見を踏まえて行政が市民とともに計画を立てることや、「市民・市政をはじめ、多様な主体が立場・役割に応じ相互に協力関係を築く」ことなど、市民と行政が共にまちづくりに取組みやすい体制作りがイメージとして挙げられています。

(12) 公共施設の利用状況

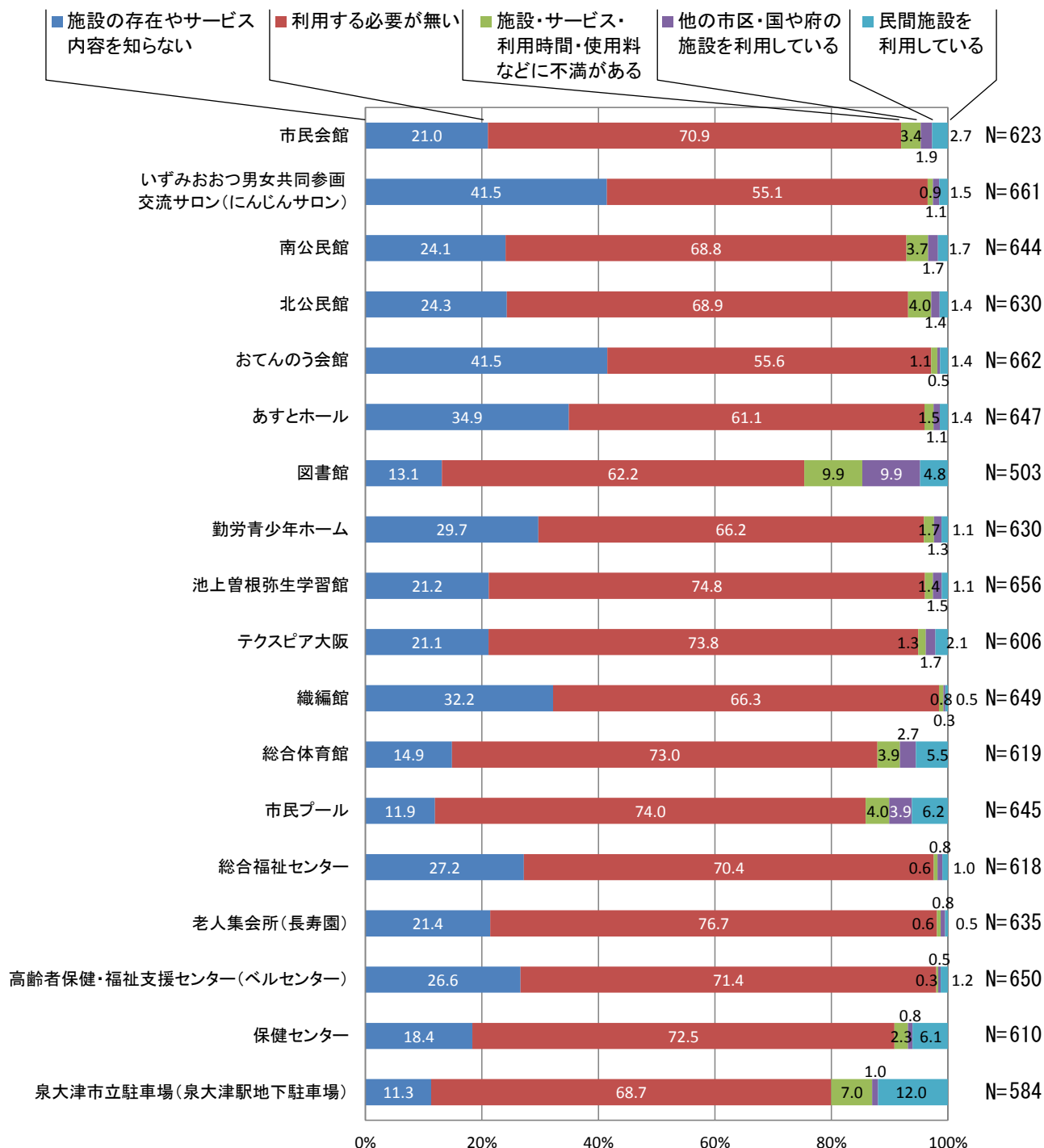
次の各施設の過去1年間の利用について、1つに○印をつけてください。また、利用について「半年に一度」「利用したことが無い」を選択された場合、その理由をお答えください。〈それぞれ一つに○印〉

過去1年間で最も利用されている施設は図書館となっており、回答者の20%以上が1か月に1度以上利用しています。



施設の利用頻度が低い、または利用したことが無い理由としては、「利用する必要がない」が最も多く、施設によっては「施設の存在やサービス内容を知らない」の割合が高くなっています。

■ 「半年に1度」「利用したことがない」を選択した理由

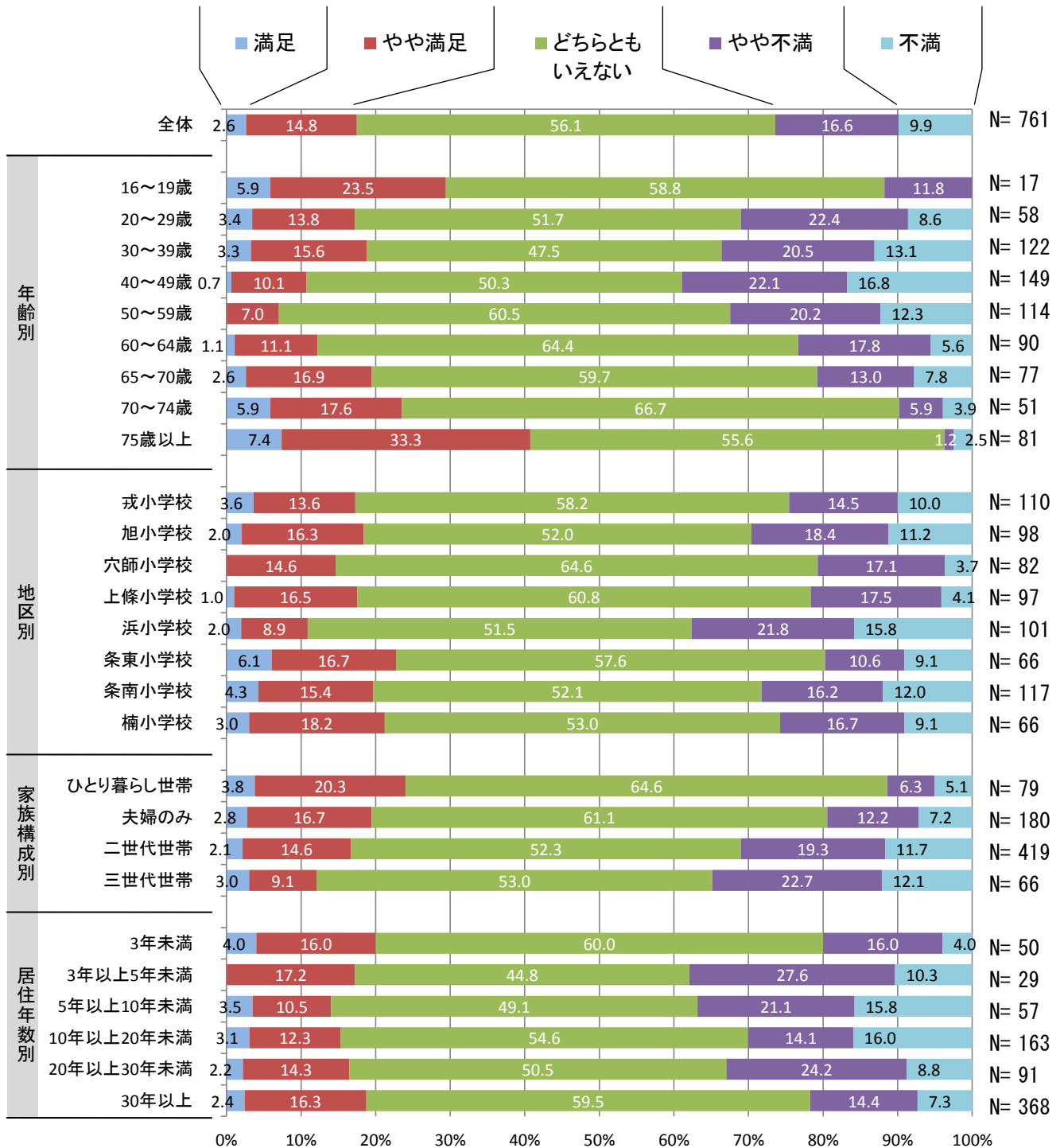


(13) 泉大津市の公共施設数やサービスの内容についての考え

泉大津市の公共施設数やサービスの内容について、あなたのお考えに近いものを選んでください。＜1つに○印＞

「満足」が2.6%、「やや満足」が14.8%、あわせて17.4%が満足と回答しています。

一方、「不満」が9.9%、「やや不満」が16.6%、あわせて26.5%が不満と回答しており、不満と回答した割合が満足と回答した割合を上回っています。なお、約半数の56.1%が「どちらともいえない」と回答しています。



(14) 泉大津市の人口規模から見た施設の数

泉大津市には、現在、市民のみなさんが一般的に利用できる施設（学校や幼稚園等の特定の市民が利用する施設は除く）として、以下のような種類の施設があります。あなたは、泉大津市の人口規模（約7万7千人）から見て、それぞれの種類の施設数は多いと思いますか、少ないと思いますか。〈それぞれ1つに○印〉

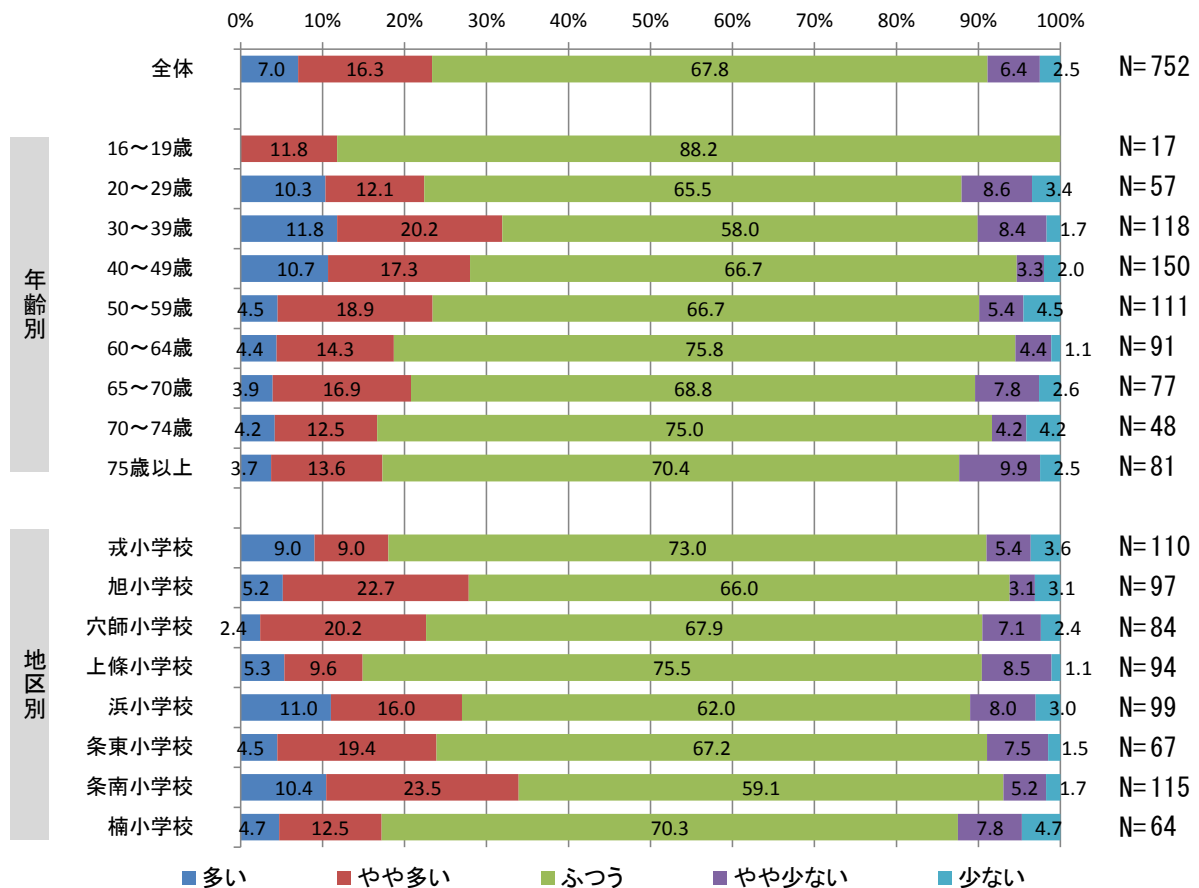
生涯学習施設	市民会館、公民館（2か所）、おてんのう会館、あすとホール、図書館、勤労青少年ホーム、池上曾根弥生学習館、テクスピア大阪、織編館
スポーツ健康施設	スポーツ施設 【総合体育館、野球場・運動場（7か所）、テニスコート（3か所）】 市民プール【助松プール、穴師プール（休止中）】
福祉施設	総合福祉センター、老人集会所【長寿園（13か所）】、高齢者保健・福祉支援センター（バルセンター）、保健センター

①生涯学習施設

生涯学習施設については、「多い」が7.0%、「やや多い」が16.3%、あわせて23.3%が多いと回答しています。

一方、「少ない」が2.5%、「やや少ない」が6.4%、あわせて8.9%が少ないと回答しており、多いと回答した割合が少ないと回答した割合を上回っています。

なお、半数を超える67.8%が「ふつう」と回答しています。

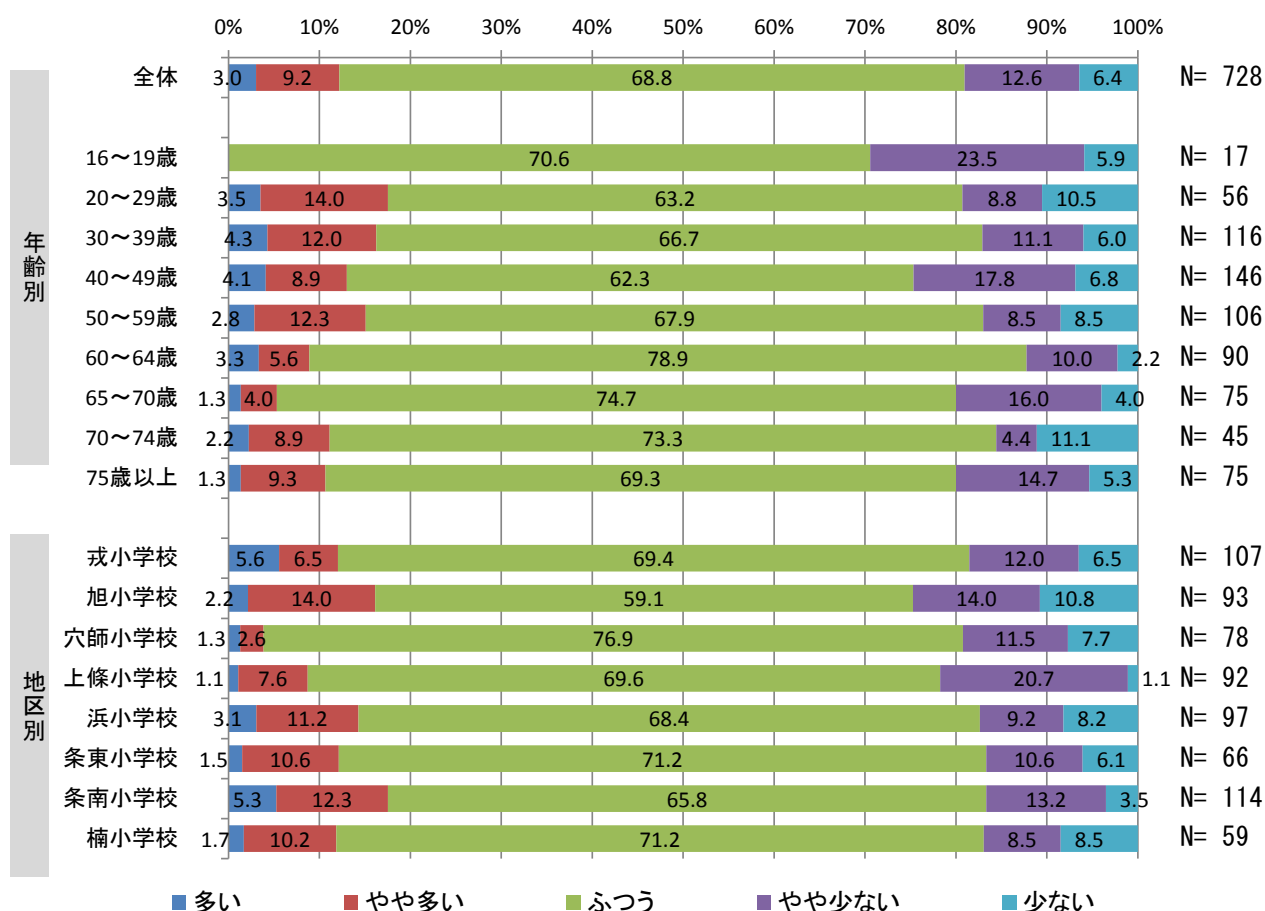


②スポーツ施設

スポーツ施設については、「多い」が3.0%、「やや多い」が9.2%、あわせて12.2%が多いと回答しています。

一方、「少ない」が6.4%、「やや少ない」が12.6%、あわせて19.0%が少ないと回答しており、多いと回答した割合が少ないと回答した割合を下回っています。

なお、半数を超える68.8%が「ふつう」と回答しています。

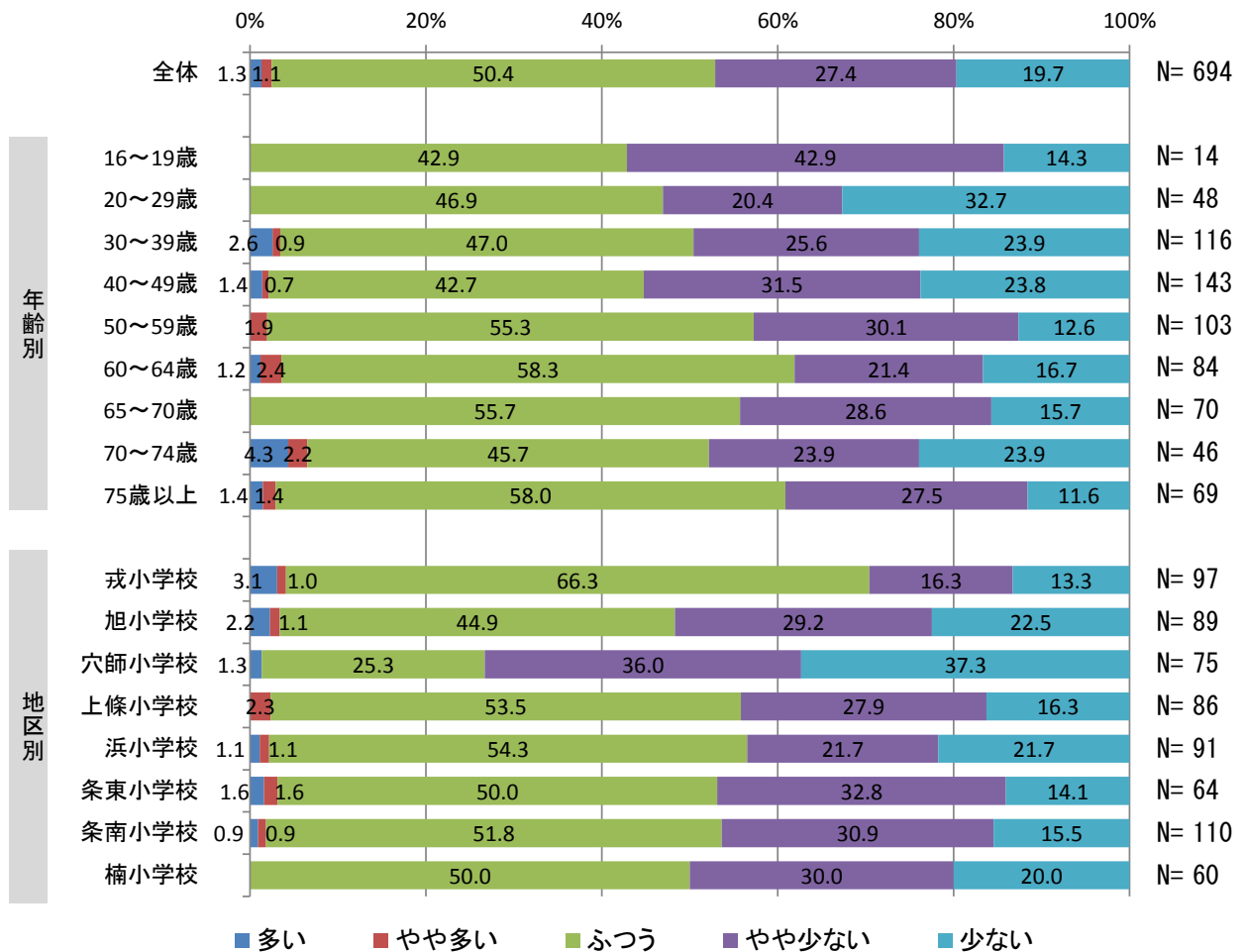


③市民プール

市民プールについては、「多い」が1.3%、「やや多い」が1.1%、あわせて2.4%が多いと回答しています。

一方、「少ない」が19.7%、「やや少ない」が27.4%、あわせてあわせて半数近い47.1%が少ないと回答しており、少ないと回答した割合が多いと回答した割合を大きく上回っています。

なお、約半数の50.4%が「ふつう」と回答しています。

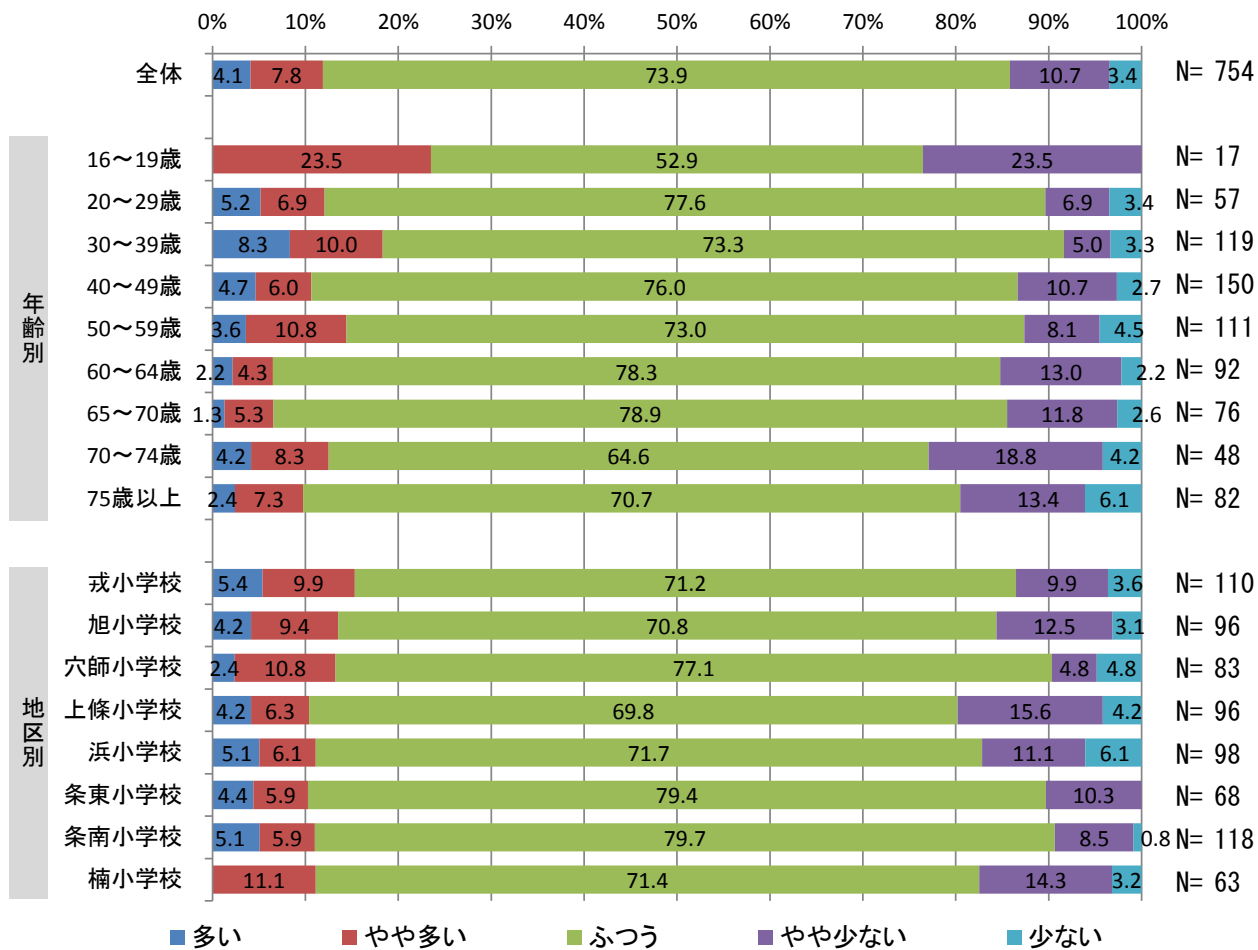


④福祉施設

福祉施設については、「多い」が4.1%、「やや多い」が7.8%、あわせて11.9%が多いと回答しています。

一方、「少ない」が3.4%、「やや少ない」が10.7%、あわせて14.1%が少ないと回答しており、少ないと回答した割合が多いと回答した割合をやや上回っています。

なお、半数を超える73.9%が「ふつう」と回答しています。

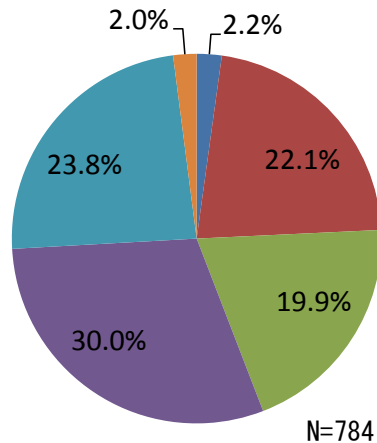


(15) - 1 今後の公共施設整備についての考え

「泉大津市における公共施設の現状」(※本頁下部参照)を読んだうえで、今後の公共施設整備についてあなたのお考えに近いものを選んでください。<1つに○印>

今後の公共施設整備についての考えは、「既存施設には必要性の低いものもあるので、積極的に統廃合を行い、費用を削減するべきである」が30.0%と最も高く、次いで「わからない」が23.8%、「今ある施設はすべて必要なものなので、現状維持を優先的に考えるべきである」が22.1%となっています。

一方、「公共施設は足りないので、費用がかかっても増やすべきである」は2.2%のみ回答しています。



- 公共施設は足りないので、費用がかかっても増やすべきである
- 今ある施設はすべて必要なものなので、現状維持を優先的に考えるべきである
- 公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った数まで減らすべきである
- 既存施設には必要性の低いものもあるので、積極的に統廃合を行い、費用を削減するべきである
- わからない
- その他

全国における公共施設の現状

現在、全国の自治体において公共施設の老朽化が問題となっており、施設の耐用年数を超えている、または10年以内に超えるとされる公共施設は、全国で4割以上(総務省調べ)にのぼると言われています。

多くの自治体において、財政的な問題から全ての公共施設の建替え等が難しい状況の中、様々な自治体で今後の公共施設のあり方について検討が進められています。

泉大津市における公共施設の現状

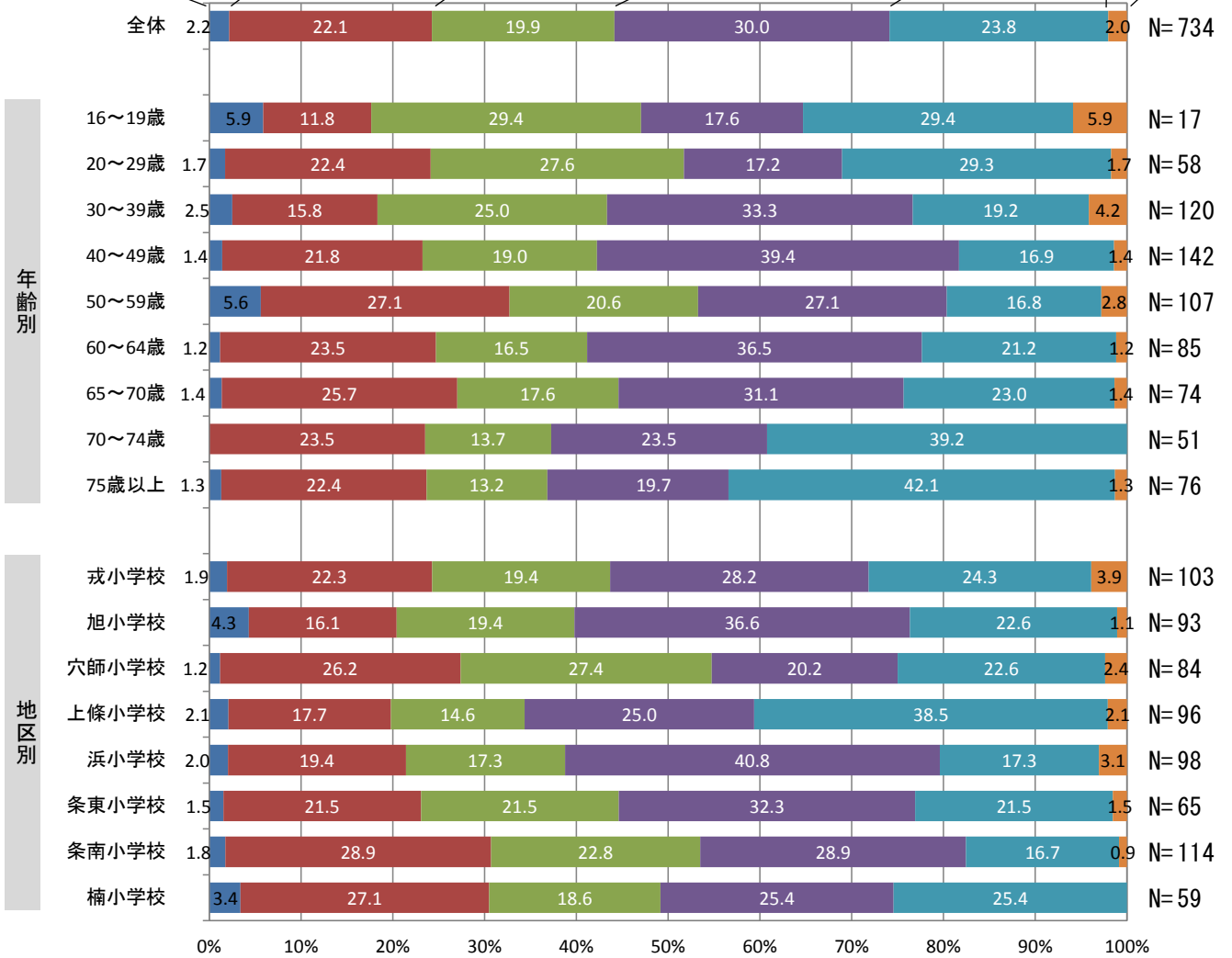
本市には、市民会館、公民館、スポーツ施設、幼稚園、学校、老人集会所(長寿園)など多様な公共施設がありますが、昭和40年代にその多くを整備してきたことから老朽化が進んでおり、施設の大規模な改修や建替えが必要となっています。しかし、人口の減少や少子高齢化が進展する中、市税収入の減少など多額の財源不足が見込まれ、本市においても、全ての施設を建替えすることは困難であり、今後の公共施設のあり方について考える必要があります。

将来の泉大津市

人 口	公 共 施 設
2040年の人口は、現在の約7万7千人から約6万5千人(約15%減)に減少し、高齢化率は34%(現状約22%)を超える	市が現在保有している施設(約18万㎡)の約60%が築30年以上となっており、今後、更なる老朽化が進行する
※社会保障・人口問題研究所の推計人口を参考	※道路や橋、上下水道などのインフラ・プラント系施設、病院施設を除く

公共施設のあり方を考えることが必要！！

■ 公共施設は足りないので、費用がかかっても増やすべきである
 ■ 今ある施設はすべて必要なものなので、現状維持を優先的に考えるべきである
 ■ 公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った数まで減らすべきである
 ■ 既存施設には必要性の低いものもあるので、積極的に統廃合を行い、費用を削減するべきである
 ■ わからない
 ■ その他

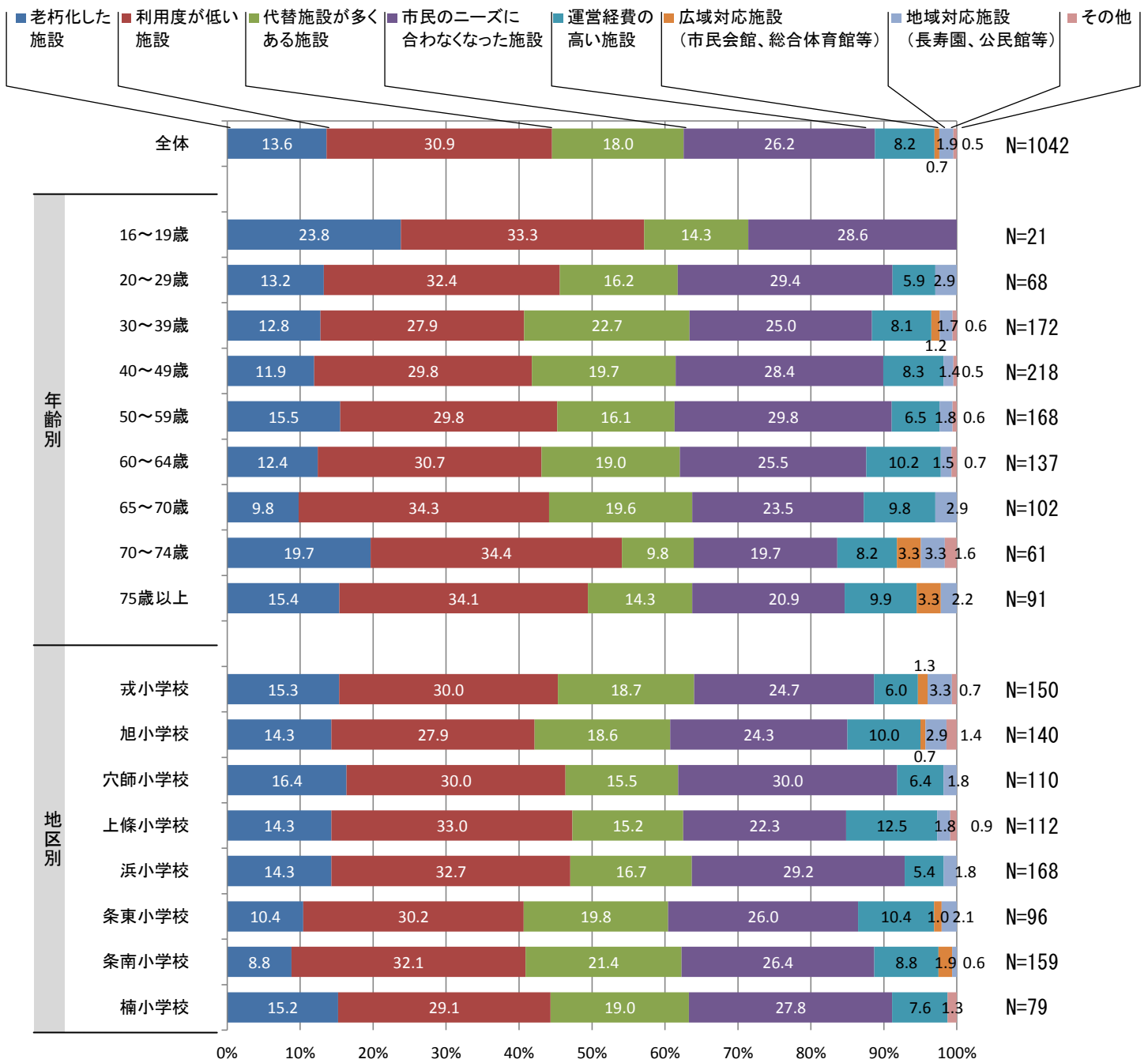


(15) - 2 施設数を減らす場合減らしてもよいと考える施設

公共施設にかかる経費を減らすため、施設数を減らすことになった場合、あなたが減らしてもよいと考える施設について3つまで選んでください。〈3つに○印〉

施設数を減らすことになった場合、減らしてもよい施設としては、「利用度が低い施設」が30.9%と最も高く、次いで「市民のニーズに合わなくなった施設」が26.2%となっています。

一方、広域対応施設（市民会館、総合体育館等）が0.7%、地域対応施設（長寿園、公民館等）という回答が1.9%と低くなっています。

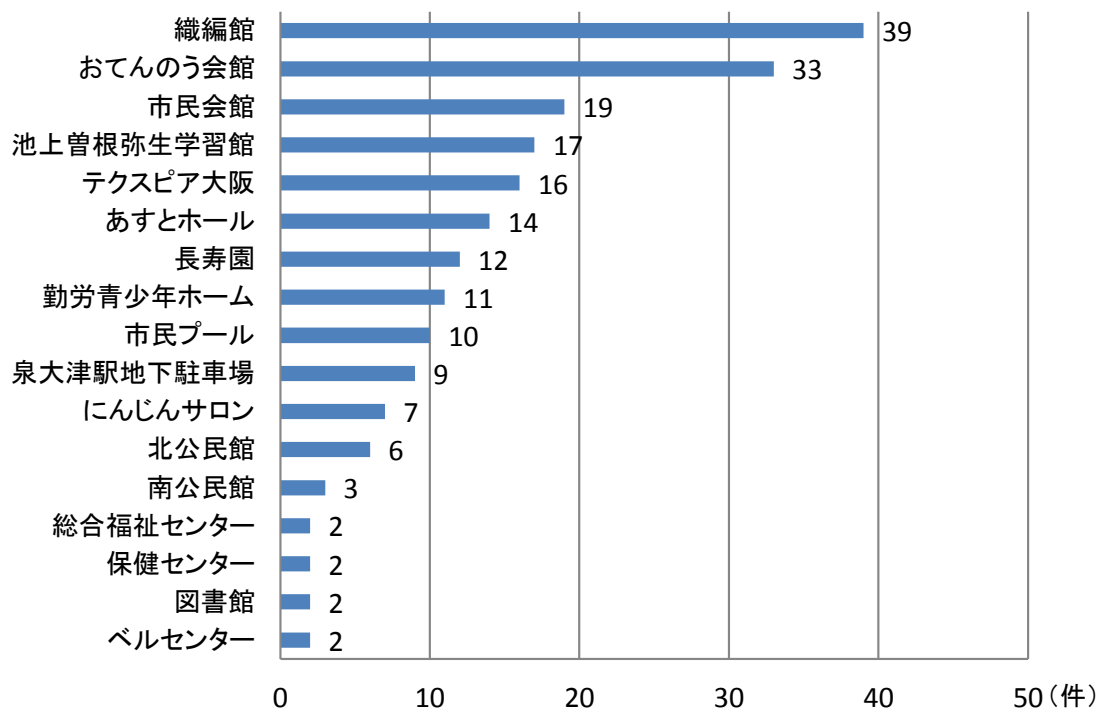


(15) - 3 施設数を減らす場合減らしてもよいと考える市内の公共施設

市内の公共施設で減らしてもよいと思う施設があれば、施設名とその理由をお教えてください。(複数回答可)

施設数を減らすことになった場合、減らしてもよいと思う施設としては、織編館が最も多く、次いでおてんとう会館、市民会館となっています。

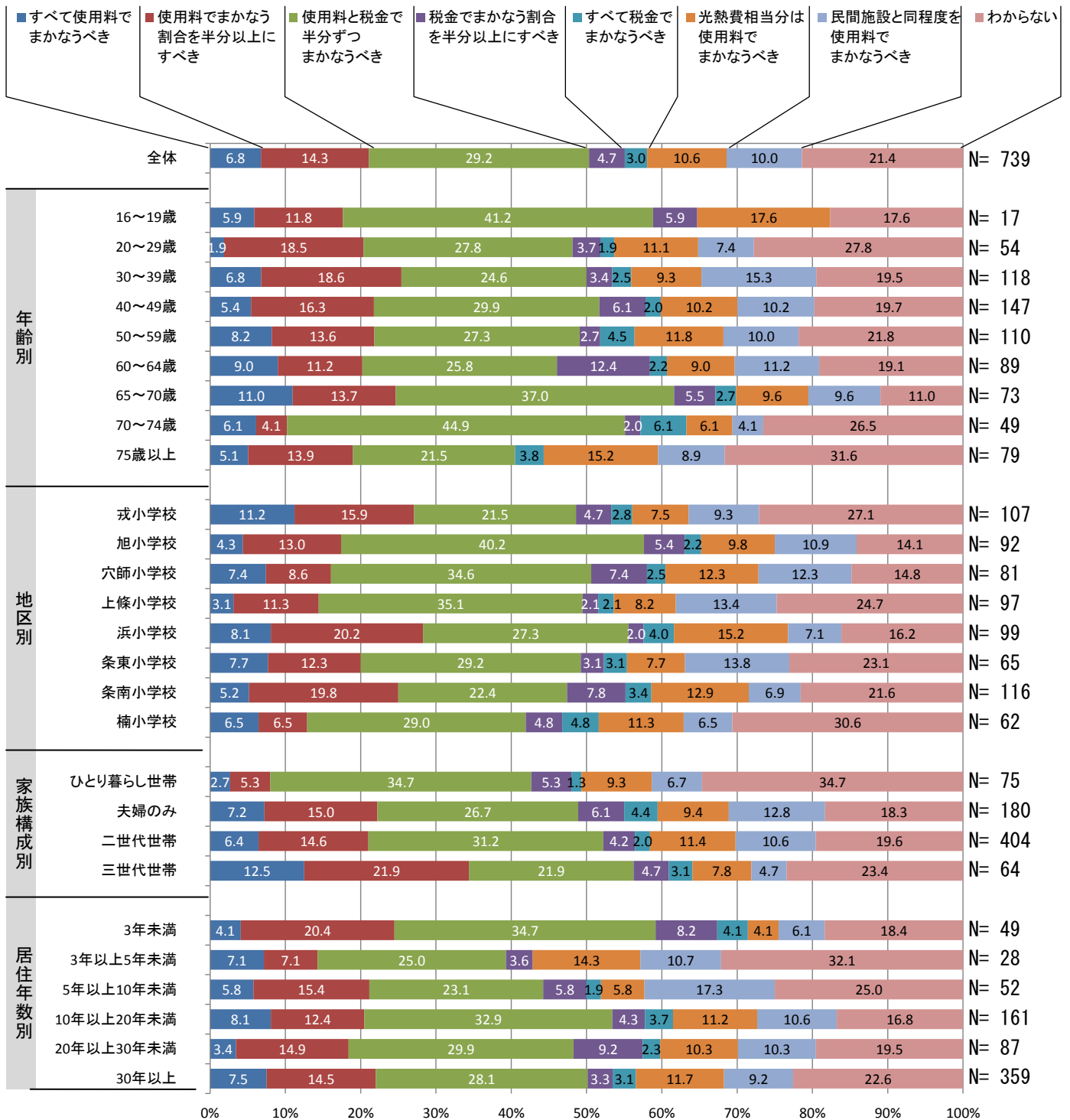
減らしてもよいと考える理由としては、「使用用途がわからない」や、「利用頻度が低い」、「施設の費用対効果に疑問」「民間に運営を委託、民間施設を利用」等の意見が挙げられています。



(16) 公共施設を税金と利用者が支払う使用料で管理運営していることについて

公共施設は、税金と利用者が支払う使用料で管理運営しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。〈1つに○印〉

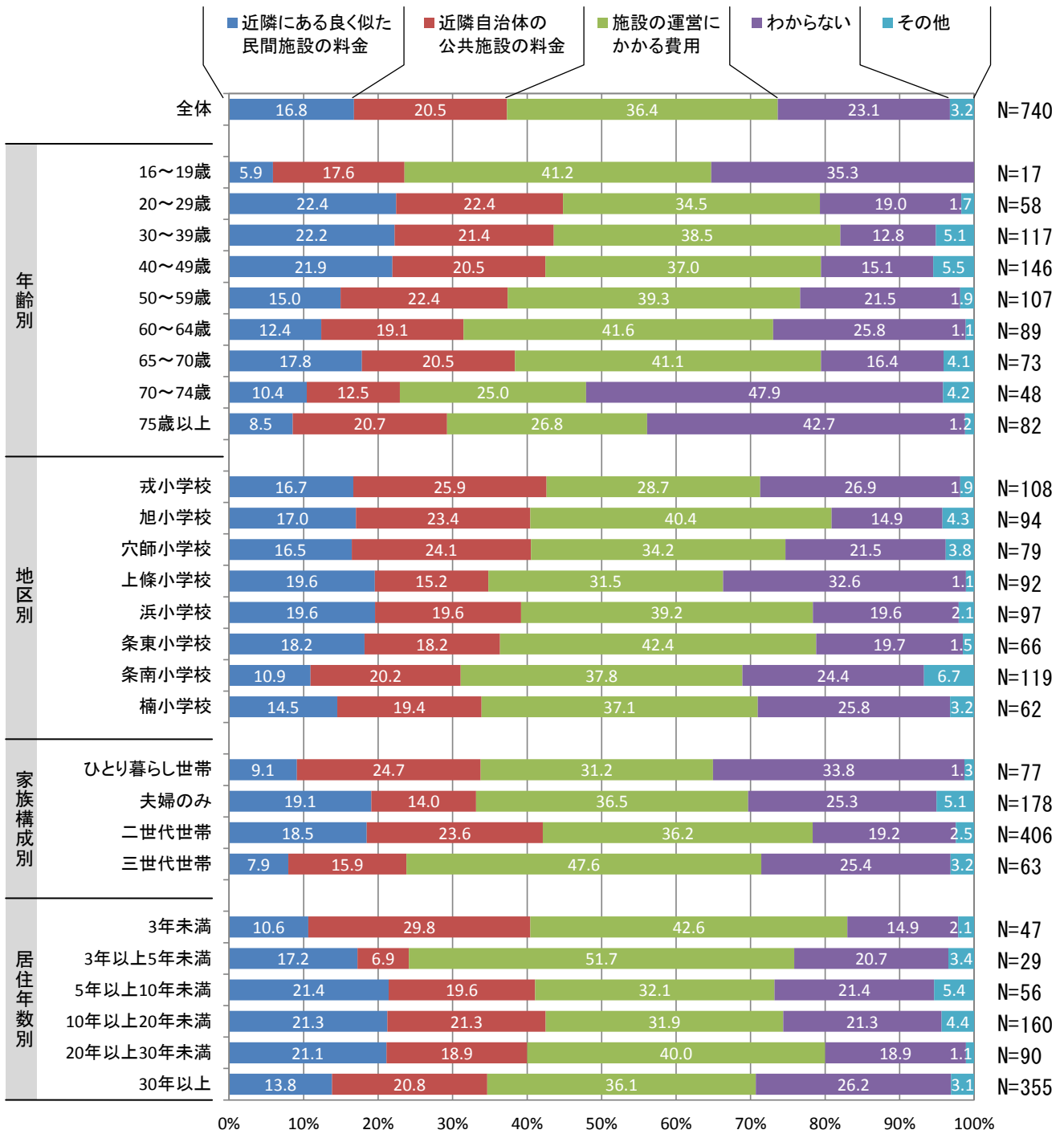
公共施設の管理運営については、「使用料と税金で半分ずつまかなうべき」が29.2%と最も高く、次いで「わからない」が21.4%、「使用料でまかなう割合を半分以上にすべき」が14.3%となっています。



(17) 公共施設の使用料は何を基準に決めるべきか

あなたは、公共施設の使用料は何を基準に決めるべきだと思いますか。〈1つに○印〉

公共施設の使用料については、「施設の運営にかかる費用」が36.4%と最も高く、次いで「わからない」が23.1%、「わからない」が23.1%、「近隣自治体の公共施設の料金」が20.5%となっています。



(18) 地域住民や利用者による運営が可能と思う施設

公共施設においては、施設の管理・運営を地域住民や利用者が行政の代わりに行うことで、いっそうの施設サービスの向上を図ることが期待できます。そこで、あなたが市内の公共施設で地域住民や利用者による運営が可能と思う施設があれば、お教えてください。また、回答された施設における住民・利用者の役割を「1」から「3」の中から選んでください。

地域住民や利用者による運営が可能と思う施設については、長寿園が最も多く回答されており、次いで南公民館、北公民館という結果になっています。

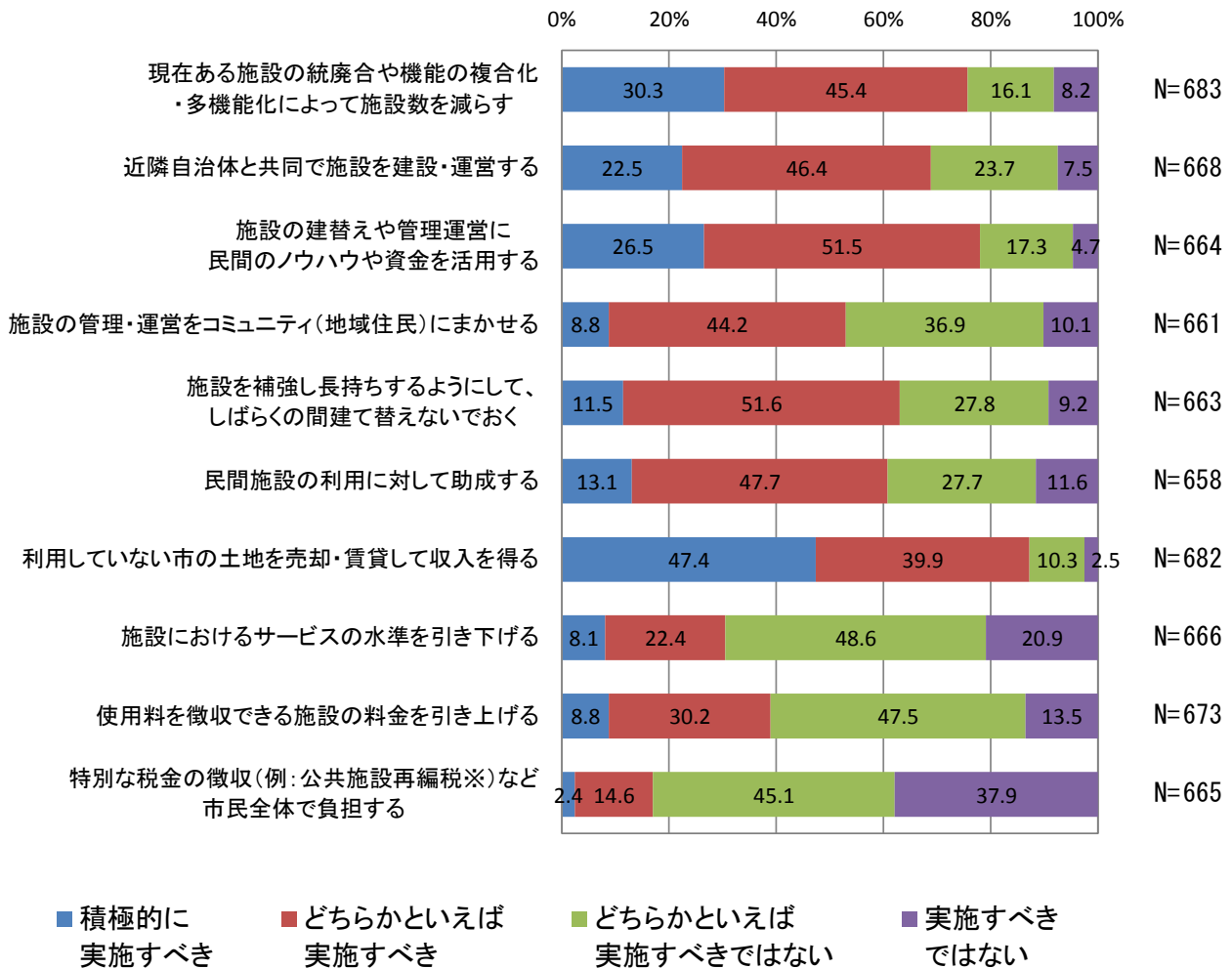
長寿園や南北公民館等、周辺住民が利用する施設については、「施設の管理（鍵の開け閉めや清掃等の施設の管理）」を地域住民や利用者へ移管可能という意見が多くなっています。

住民・利用者の役割	①施設の管理 (鍵の開け閉めや清掃等)	②施設の運営 (受付や電話応対等)	③施設の管理・運営 (建物の維持補修を含む)	合計 (件)
長寿園	6	1	1	8
南公民館	6	1	0	7
北公民館	6	1	0	7
市民プール	1	4	1	6
図書館	3	2	0	5
勤労青少年ホーム	0	1	3	4
あすとホール	1	0	3	4
池上曾根弥生学習館	1	1	1	3
にんじんサロン	2	1	0	3
おてんのう会館	1	1	1	3
市民会館	1	0	1	2
泉大津駅地下駐車場	1	0	1	2
ベルセンター	1	0	0	1
テクスピア大阪	0	0	1	1
織編館	1	0	0	1

(19) 公共施設の対策について

税収の減少が見込まれる中で今後も公共施設を維持していくためには、経営的な努力を行うことはもちろんですが、さらなる対策が必要です。そこで、あなたは公共施設の対策についてどのようにお考えですか。お考えに近いものを選んでください。＜1つに○印＞

公共施設の対策のうち、「積極的に実施すべき」対策としては、「利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」が47.4%、次いで「現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化によって施設数を減らす」が30.3%と高くなっています。

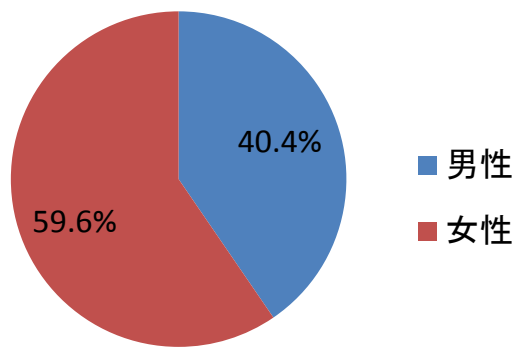


※「公共施設再編税」とは、公共施設の再編を目的として新たに設ける市独自の税のことです。

(20) 回答者について

①性別

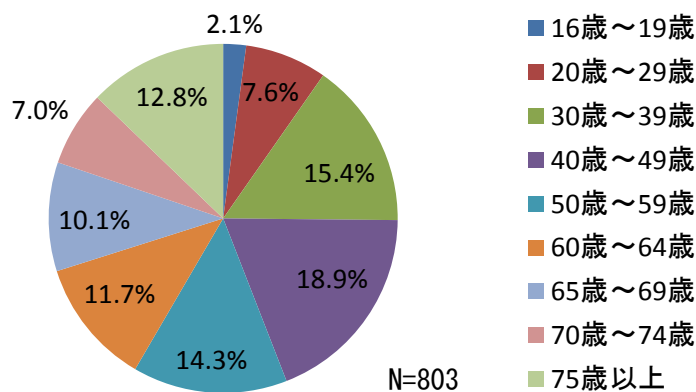
「女性」が59.6%、「男性」が40.4%となっています。



N=770

②年齢

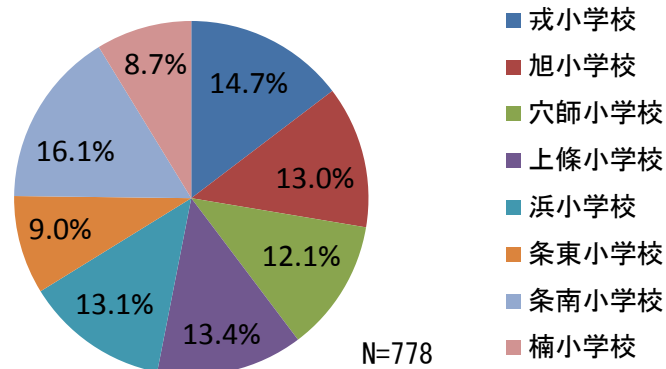
最も多いのは「60代」で21.8%、次いで「70代以上」が19.8%、「40代」が18.9%となっています。



N=803

③お住まいの地区

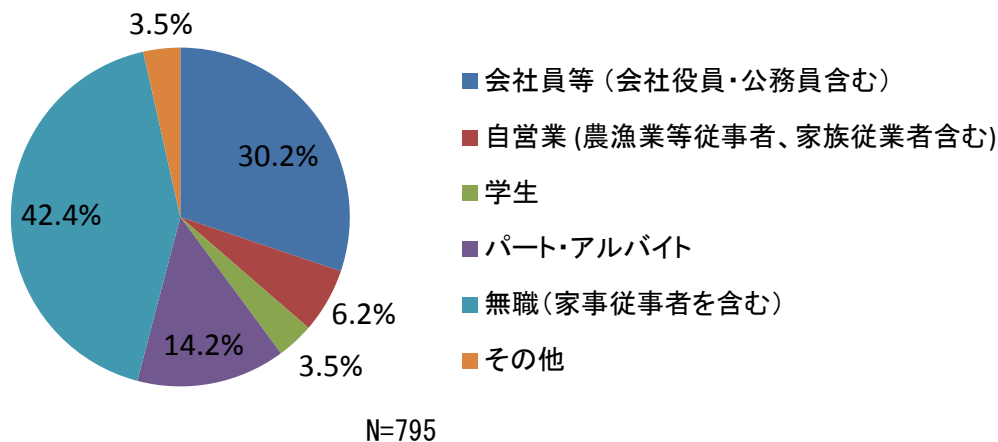
最も多いのは「条南小学校」で16.1%、次いで「戎小学校」が14.7%、「上條小学校」が13.4%、「浜小学校」が13.1%となっています。



N=778

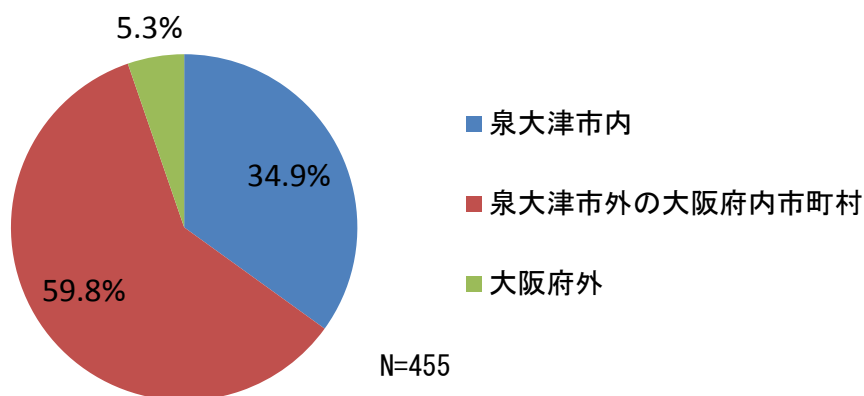
④職業

最も多いのは「無職（家事従事者も含む）」で 42.4%、次いで「会社員等（会社役員・公務員含む）」が 30.2%、「パート・アルバイト」が 14.2%となっています。



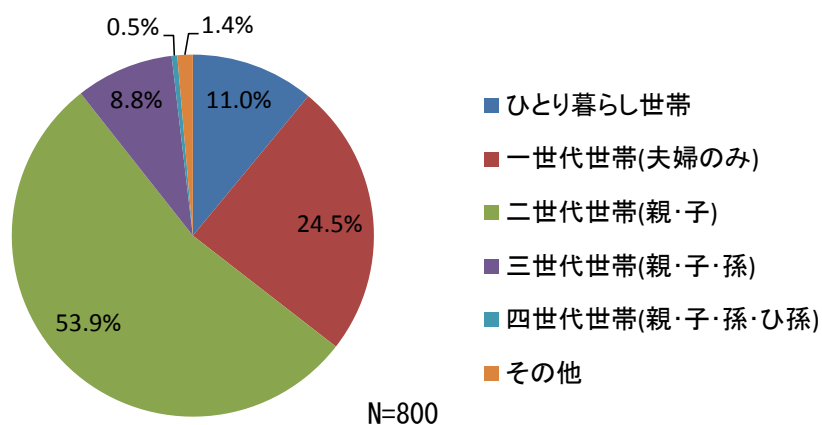
⑤通勤・通学先

最も多いのは「泉大津市外大阪府内市町村」で 59.8%、次いで「泉大津市内」が 34.9%、「大阪府外」が 5.3%となっています。



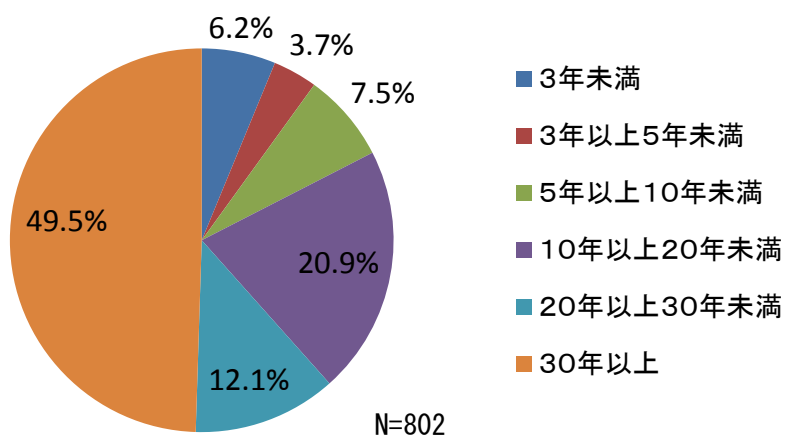
⑥家族構成

最も多いのは「二世世代世帯（親・子）」で 53.9%、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」が 24.5%、「ひとり暮らし世帯」が 11.0%となっています。



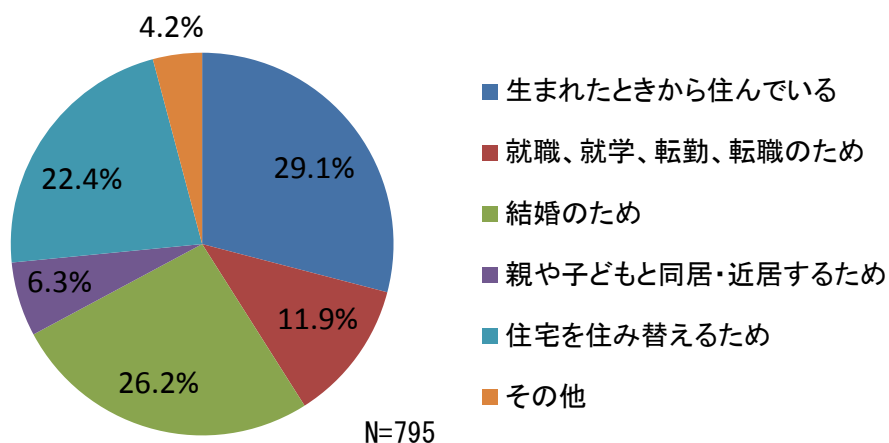
⑦居住年数

最も多いのは「30年以上」で49.5%、次いで「10年以上20年未満」が20.9%、「20年以上30年未満」が12.1%となっています。



⑧泉大津市に住むようになったきっかけ

最も多いのは「生まれたときから住んでいる」で29.1%、次いで「結婚のため」が26.2%、「住宅を住み替えるため」が22.4%となっています。



(21) 自由意見

自由意見について、意見の内容を分類し、分類ごとの件数を整理した結果は以下のとおりです。
(計 317 名が、計 380 件の意見を記入)

意見の分類	意見の件数
公共施設	43 件
行財政運営	26 件
住環境	22 件
商工業	22 件
子ども・子育て	18 件
公園・緑地	18 件
市民参画・協働	15 件
道路	13 件
防災・防犯	12 件
観光・市の PR (シティプロモーション)	11 件
福祉	10 件
臨海部	10 件
廃棄物	10 件
保健・医療・市立病院	9 件
地域コミュニティ	8 件
公共交通	8 件
交通安全・マナー	7 件
市政の情報発信	7 件
おづみん	7 件
学校教育	5 件
青少年育成	5 件
公共料金	5 件
議会	5 件
文化・芸術・スポーツ	4 件
働く場所	4 件
その他 (アンケートの感想)	23 件
その他 (市政への要望、提案)	19 件
その他	34 件